MUSHA GUNDAM Mk-Ⅱ
PAINTING〔塗装〕

本体・紋章・武器ダークブルー部
ミッドナイトブルー（80%）
+クリアブルー（15%）
+コバルトブルー（5%）

本体・ライフルブルー部
コバルトブルー（75%）
+ホワイト（20%）
+インディブルー（5%）

本体・頭部等レッド部
シャインレッド（80%）
+オレンジ（20%）
+ホワイト（少量）

本体・刀（柄）パープル部
パープル（50%）
+ホワイト（45%）
+クリアブルー（5%）

フレーム・刀（鍔）パープルグレー部
ブルーグレー（35%）
+すみれ色（35%）
+パープル（30%）

ライフルグレー部
ミディアムブルー（60%）
+ダークグレー（30%）
+ブルーグレー（10%）

バーニアグレー部
ミディアムブルー（45%）
+ブルーグレー（35%）
+ミッドナイトブルー（20%）

頭部ブラック部
ブラック（100%）

目・ライフルスコープ部
クリアグリーン（100%）

顔を中心に、『スミ入れ』をしてみよう

ガンダムマーカー/スミ入れ用（別売り）などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感やリアル感が増します。このスミ入れを行うことで、さらに見違えるような仕上がりになります。

●よりリアルに仕上げたい方は、上の基本色をご覧ください。
●塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
※カラー配合値は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

MG MASTER GRADE
武者ガンダムMk-Ⅱ
マスターグレードモデル

武者ガンダムMk-Ⅱ

©創通・サンライズ

Musha Gundam Mk-Ⅱ

武者ガンダムMk-Ⅱ

MG MASTER GRADE
武者ガンダムMk-Ⅱ
マスターグレードモデル

BANDAI 2010 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。
※写真はイメージです。

0163119

BANDAI

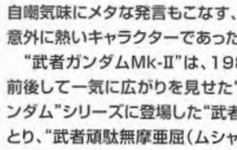
Master Grade Model "Musha Gundam Mk-Ⅱ"

武者ガンダムMk-Ⅱ

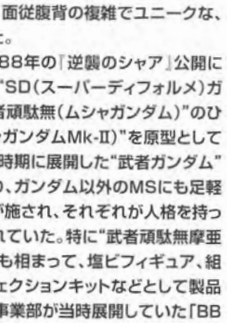
2007年。PS3のキラーソフトとしてリリースされた「ガンダム無双」の隠しキャラとして登場した"武者ガンダム"は、既存の"無双"シリーズに登場する武将たちと、"ガンダム"をはじめとする"MS(モビルスーツ)"のイメージを繋ぐ重要なキャラクターとして脚光を浴びた。そして2008年。更なる展開としてPS2専用ソフト「ガンダム無双 SPECIAL」に登場した"武者ガンダムMk-Ⅱ(武者Mk-Ⅱ)"は、"武者ガンダム"と同様、カトキハジメ氏によってリファインされた精悍なデザインが話題を呼び、いわゆる"リアル頭身の武者ガンダム"の決定版として根強い人気を誇っている。このゲームにおける武者ガンダムMk-Ⅱは、武者ガンダムを"主"と呼びつつ、実際には別の目的に従って行動しており、自嘲気味にメタな発言もこなす、面従腹背の複雑でユニークな、意外に熱いキャラクターであった。

"武者ガンダムMk-Ⅱ"は、1988年の『逆襲のシャア』公開に前後して一気に広がりを見せた"SD(スーパーディフォルメ)ガンダム"シリーズに登場した"武者頑駄無(ムシャガンダム)"のひとり、"武者頑駄無摩亜屈(ムシャガンダムMk-Ⅱ)"を原型としていることは言うまでもない。この時期に展開した"武者ガンダム"のバリエーションは多岐にわたり、ガンダム以外のMSにも足軽や僧侶、忍者や町人などの意匠が施され、それぞれが人格を持った"キャラクター"として設定されていた。特に"武者頑駄無摩亜屈"は、当時のガシャポンブームも相まって、塩ビフィギュア、組立て玩具、超合金系トイ、インジェクションキットなどとして製品化されており、バンダイ ホビー事業部が当時展開していた「BB戦士 SD戦国伝〈武者七人衆編〉」にもメインキャラとして名を連ねている。『ムシャガンダム』が、源義経などが着用したとされる平安~鎌倉期の"式正の鎧"のひとつ『黒小札赤糸威大鎧(くろこざねあかいとおどしおおよろい)』などをイメージソースとしている一方で、『武者摩亜屈』の意匠は、安土桃山~江戸期に活躍した黒田長政が着用したとされる『黒漆塗桃形大水牛脇立兜(くろうるしぬりももなりだいすいぎゅうわきだてかぶと)』を彷彿とさせる。頭部の大水牛の脇立がメッキ処理されることも多く、このキャラクターの特徴となっている。同時期に設定された"武者精太(ムシャゼータ)"や"武者駄舞留精太(ムシャダブルゼータ)"の多彩な配色と比較すると地味に見えなくもないが、逆にその"渋さ"を支持するファンも多い。ちなみに、ガンダムMk-Ⅱをモチーフとする武者ガンダムはこれまでにも数多く製品化されているが、"ティターンズカラー"の武者ガンダムMk-Ⅱの立体化は今回が史上初となる。

SDおよび武者ガンダムは、ガンプラ、さらには「ガンダム」そのもののエントリーアイテムとして、続々とリリースされ続けている。中国の古典「三国志」になぞらえた「BB戦士 三国伝」シリーズが武者系アイテムとして展開しており、関連するコミカライズ作品やグッズ情報が「ケロケロエース」および「ガンダムエース」(ともに角川書店:刊)などに掲載されているほか、2010年4月よりテレビ東京系でアニメ「SDガンダム三国伝 Brave Battle Warriors」が放映されている。



「ガンダム無双2」



「ガンダム無双Special」

イラスト・デザイン:カトキハジメ

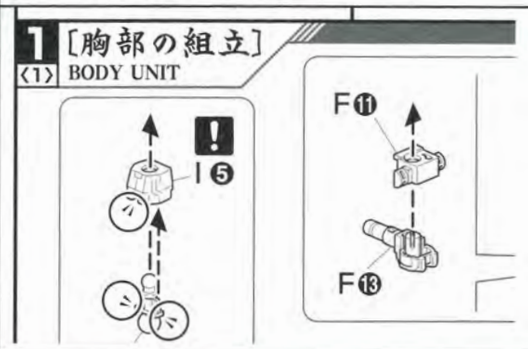
▼『ガンダム無双』用に、カトキハジメ氏により『武者ガンダムMk-Ⅱ』の名でリファインされた機体。鎧武者の意匠とメカニカルな説得力が見事に融合した、ケレン味あふれるデザインとなっている。

◀▼リアル頭身の武者アイテム「モビルスーツ戦国伝」プラモデルシリーズ。摩亜屈(マークツー)は頑駄無に対抗すべく地怨党(じおんとう)によって作られた巨大武将であり、地怨党の非道な行いに疑問を抱く青年忍者、神畏友丸(かみーゆまる)は摩亜屈を奪い地怨打倒の戦いに身を投じる、というバックストーリーが存在する。

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にV'のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

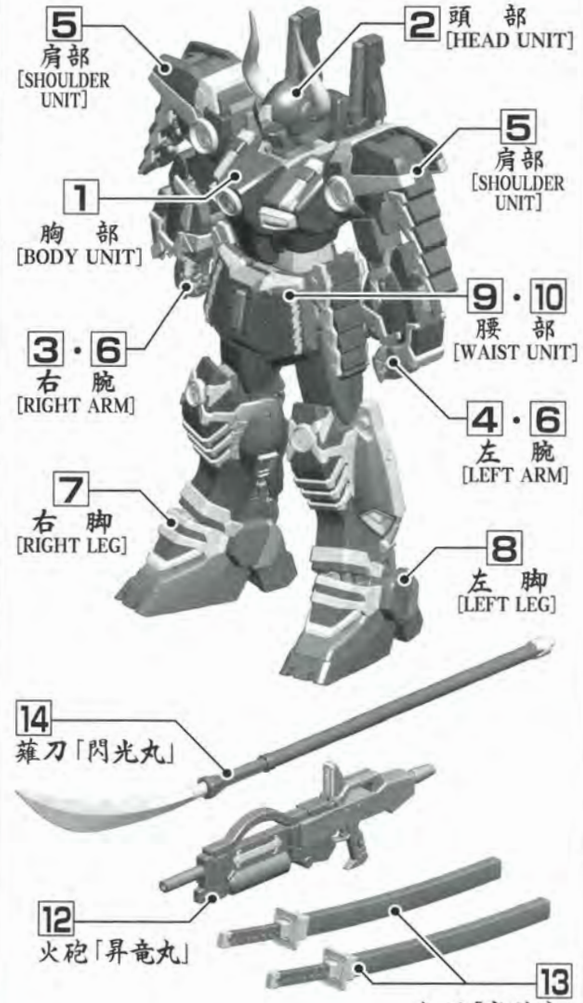
❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

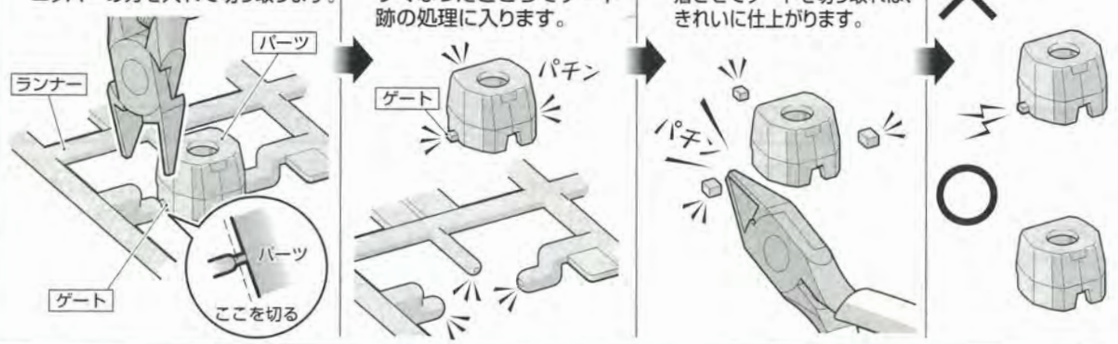


パーツの切り取りかた

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



⚠ 注　意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

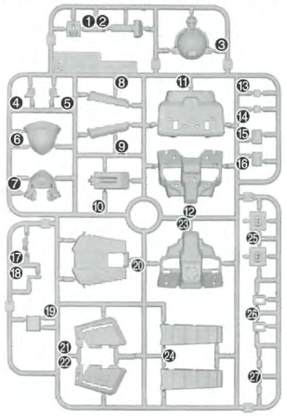
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 組み立てのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。

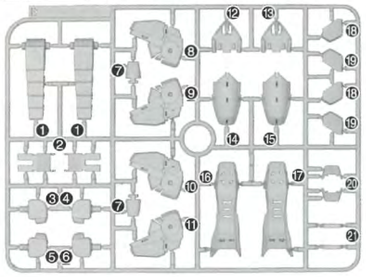
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト（×印は使用しないパーツです。）

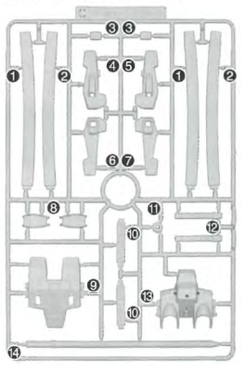
Aパーツ（スチロール樹脂：PS）



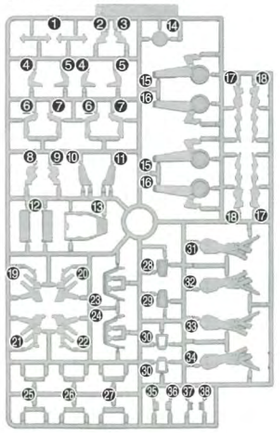
Bパーツ（スチロール樹脂：PS）



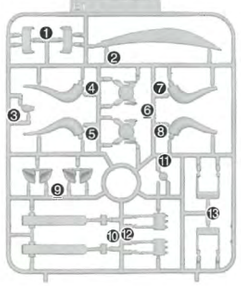
Cパーツ
（スチロール樹脂：PS）



Dパーツ アンダーゲート有り
（スチロール樹脂：PS）

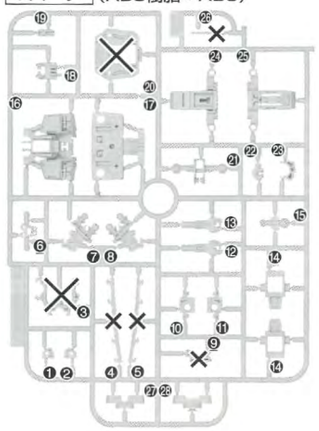


E1パーツ アンダーゲート有り
（スチロール樹脂：PS）



E2パーツ（スチロール樹脂：PS）

Fパーツ（ABS樹脂：ABS）

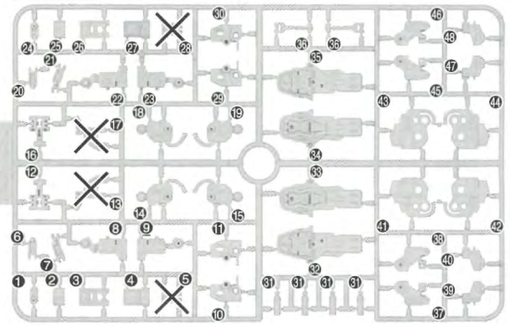


アンダーゲートの切り方

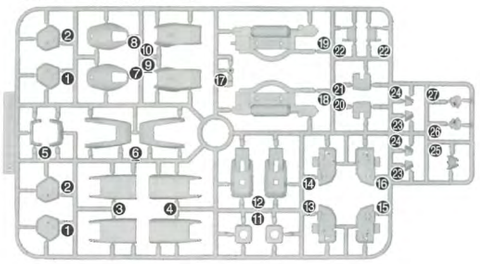
▶アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書で アンダーゲート と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

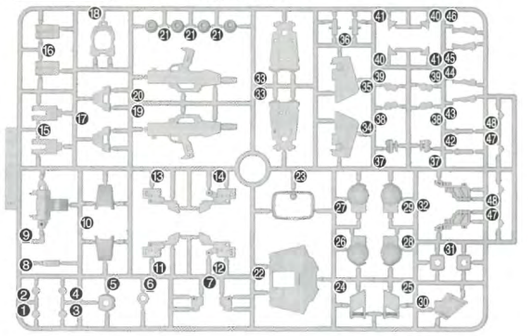
Gパーツ（ABS樹脂：ABS）



Hパーツ アンダーゲート有り
（スチロール樹脂：PS）



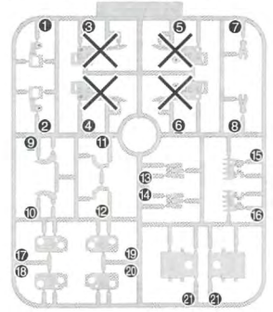
Iパーツ（スチロール樹脂：PS）



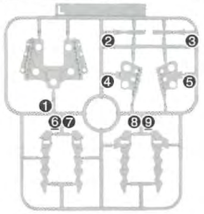
J1パーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）

J2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

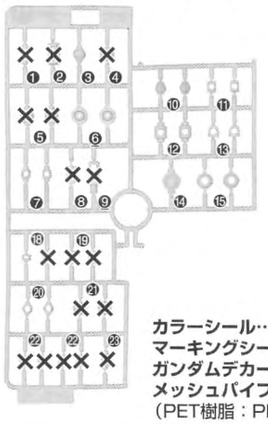
Kパーツ（ABS樹脂：ABS）



Lパーツ（スチロール樹脂：PS）

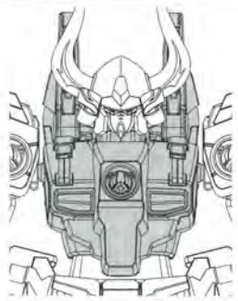


PC-130B（ポリエチレン：PE）

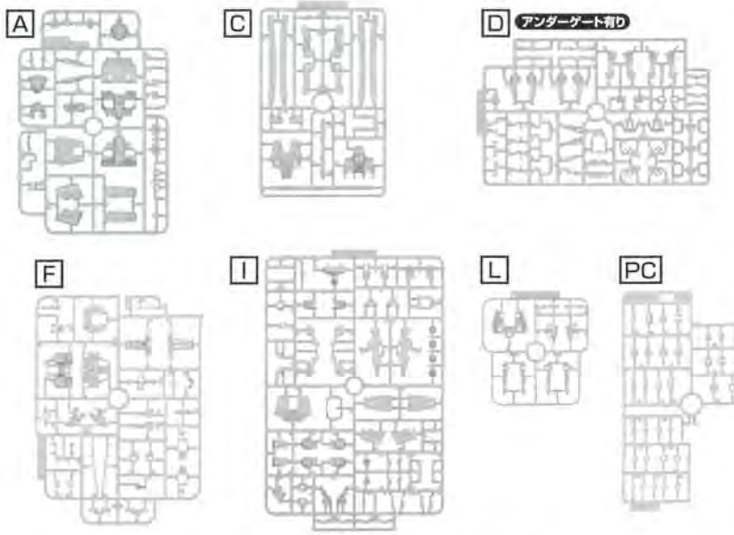


カラーシール……1枚
マーキングシール…1枚
ガンダムデカール…1枚
メッシュパイプ……1本
（PET樹脂：PET）

1 BODY



・組立 1 で使用するパーツ

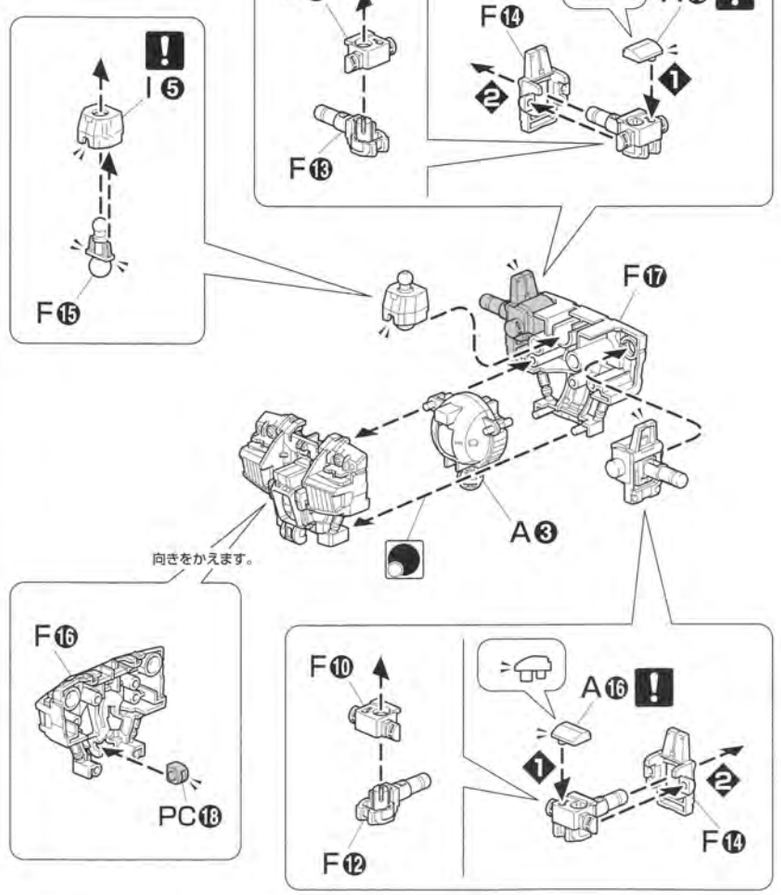


・メッシュパイプ

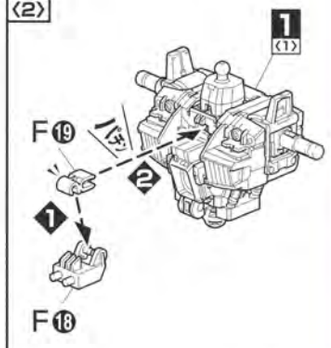
・カラーシール

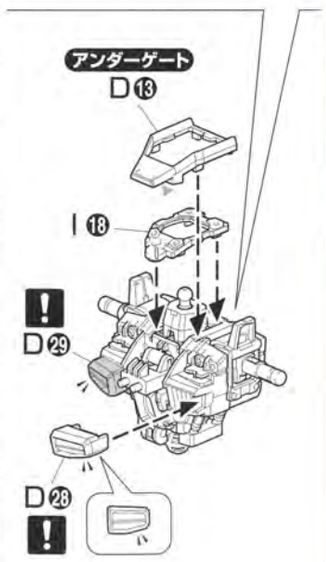
1 [胸部の組立]

1〈1〉 BODY UNIT



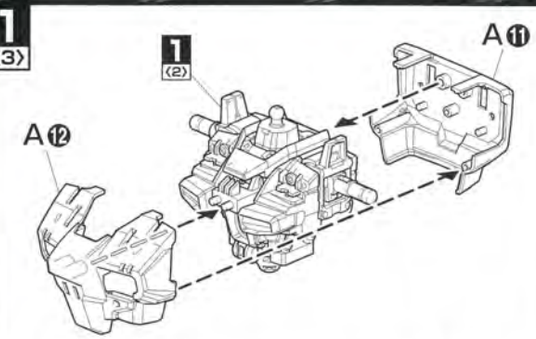
1〈2〉





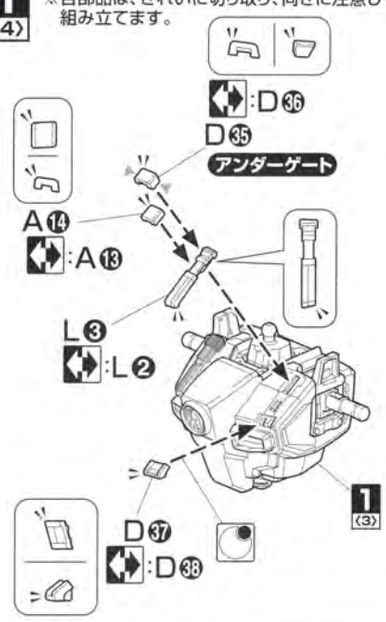
※組立図中の記号説明
- 後から組み立てる
- 向きに注意して組み立てる

1〈3〉

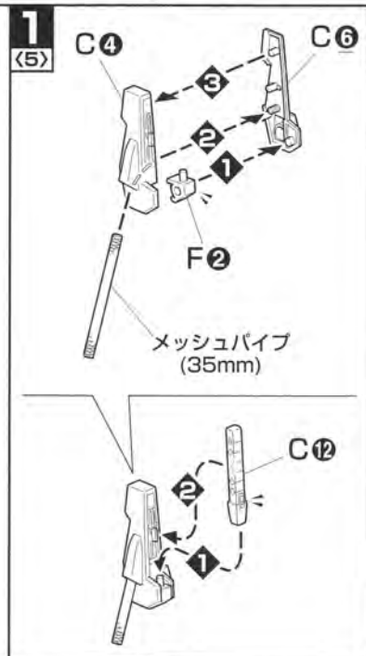


1〈4〉

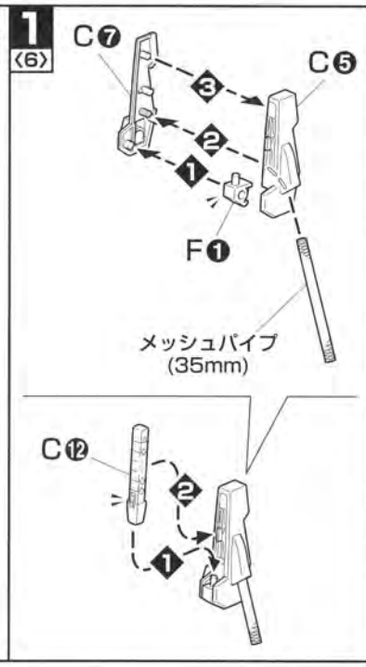
※各部品は、きれいに切り取り、向きに注意して組み立てます。



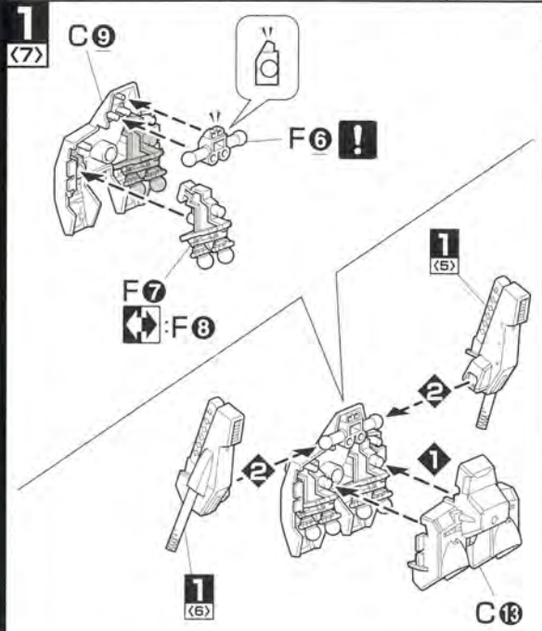
1〈5〉



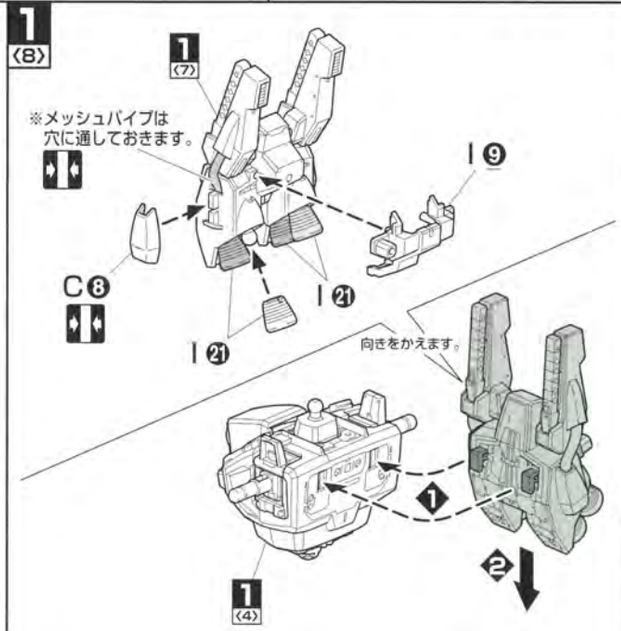
1〈6〉



1〈7〉

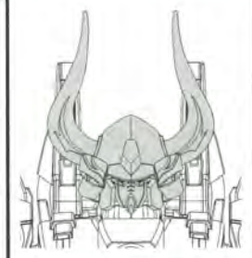


1〈8〉



※組立図中の記号説明
- 向きに注意して組み立てる
- 先に組み立てる
- 両側に同じパーツを取りつける
- 反対側に取り付けるパーツ
- シールの番号

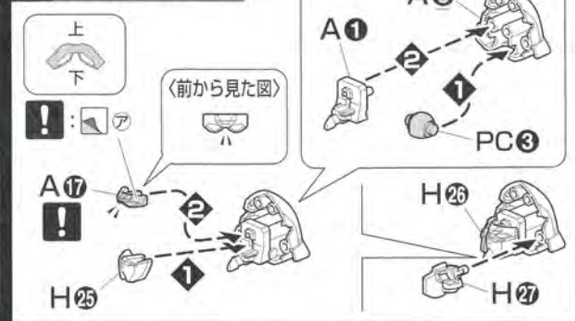
2 HEAD



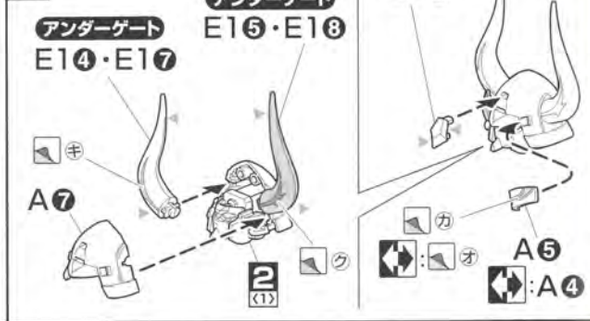
・組立2で使用するパーツ

・カラーシール

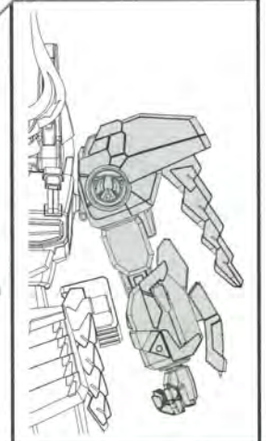
2 〈1〉 [頭部の組立] HEAD UNIT



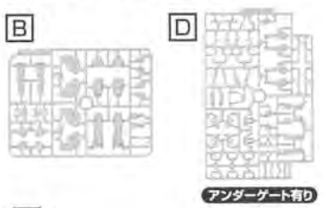
2 〈2〉

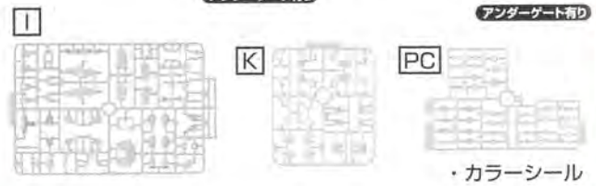


3 4 5 6 ARM



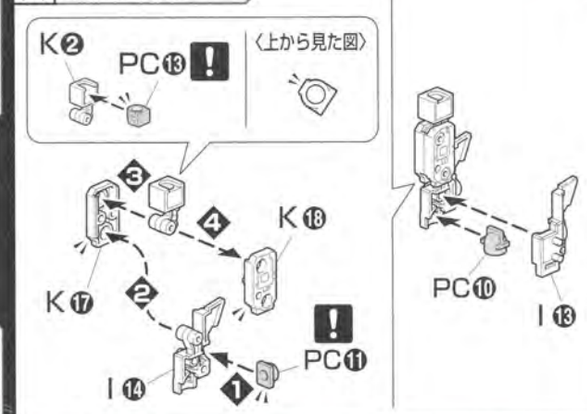
・組立3・4・5・6で使用するパーツ



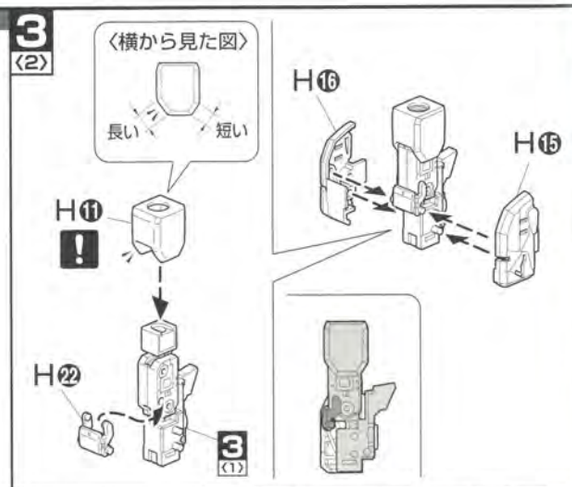


・カラーシール

3 〈1〉 [右腕の組立] RIGHT ARM

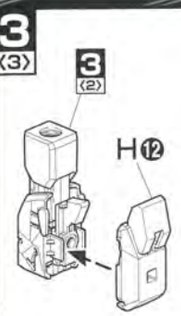


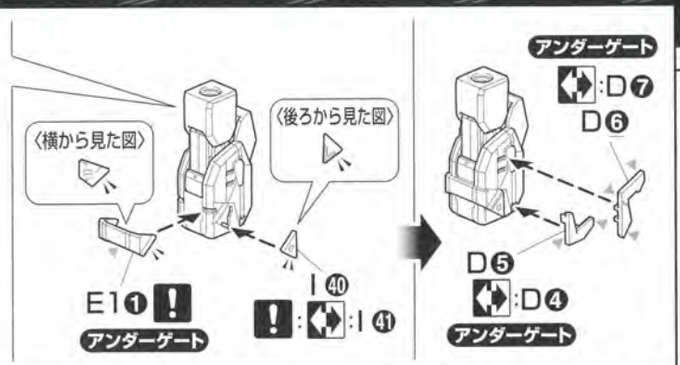
3 〈2〉



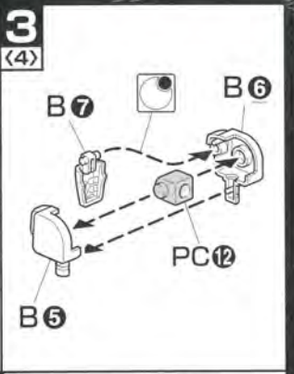
※組立図中の記号説明　ア シールの番号　向きに注意して組み立てる　反対側に取り付けるパーツ

3 〈3〉

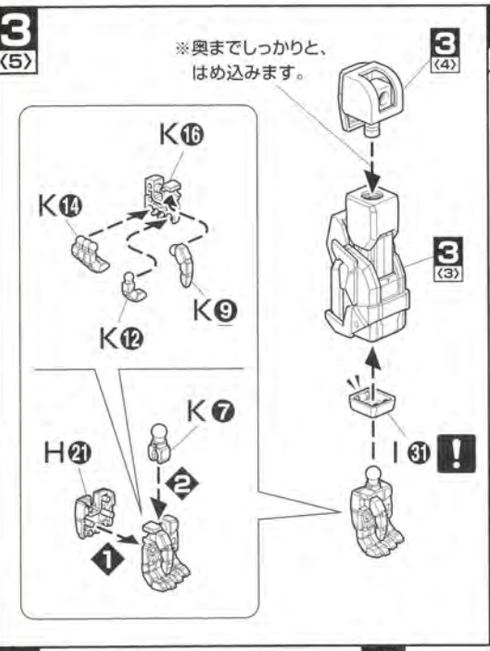




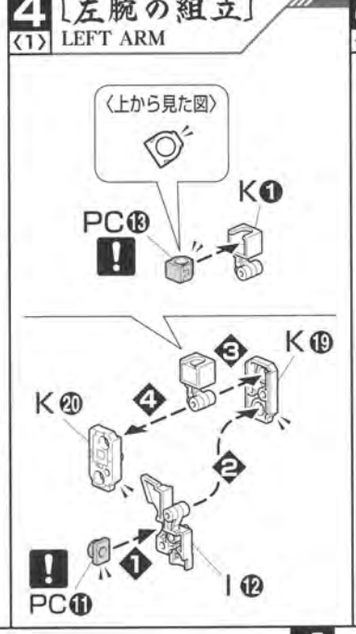
3 〈4〉



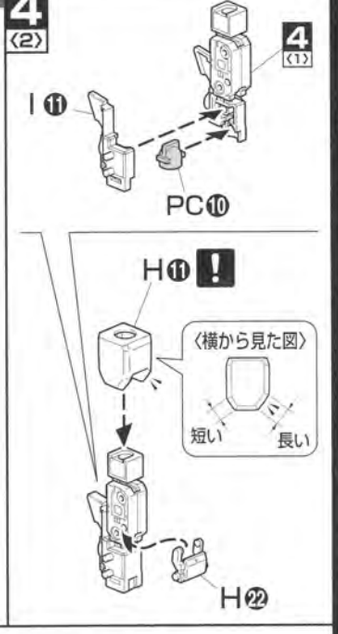
3 〈5〉



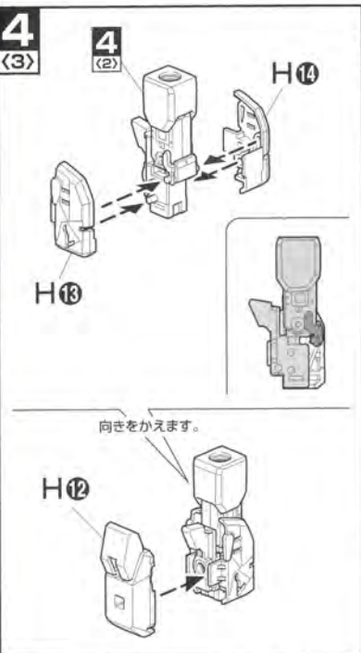
4 〈1〉 [左腕の組立] LEFT ARM



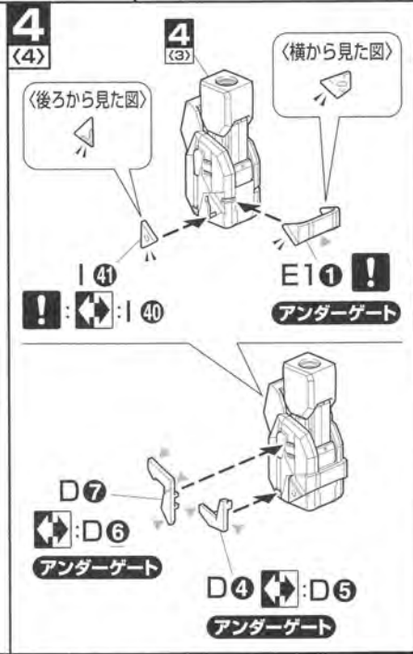
4 〈2〉



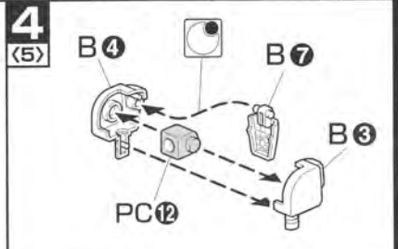
4 〈3〉



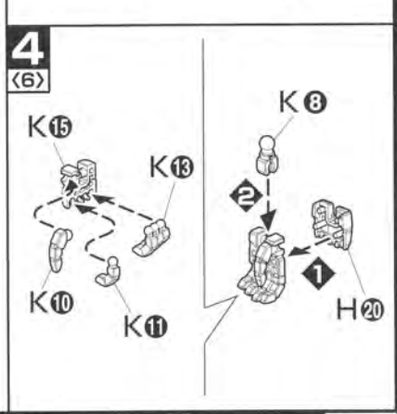
4 〈4〉



4 〈5〉

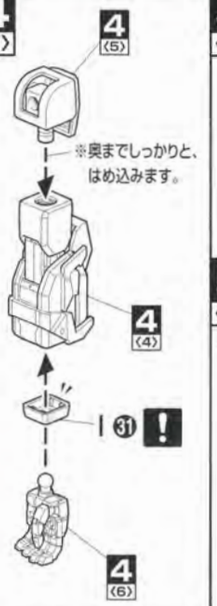


4 〈6〉



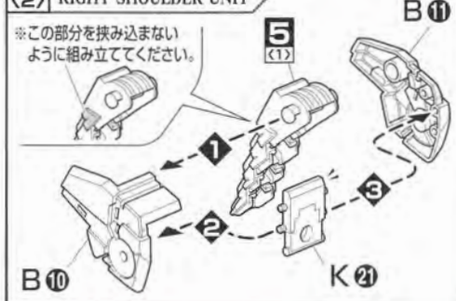
※組立図中の記号説明　向きに注意して組み立てる　反対側に取り付けるパーツ　先に組み立てる

4 〈7〉

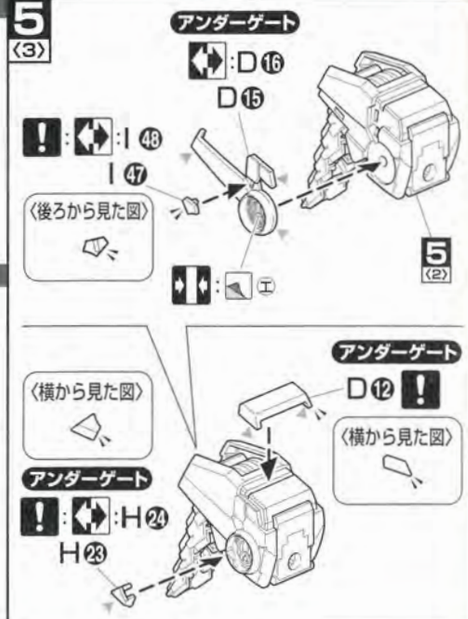


5 〈1〉 ×2 [肩部の組立] SHOULDER UNIT

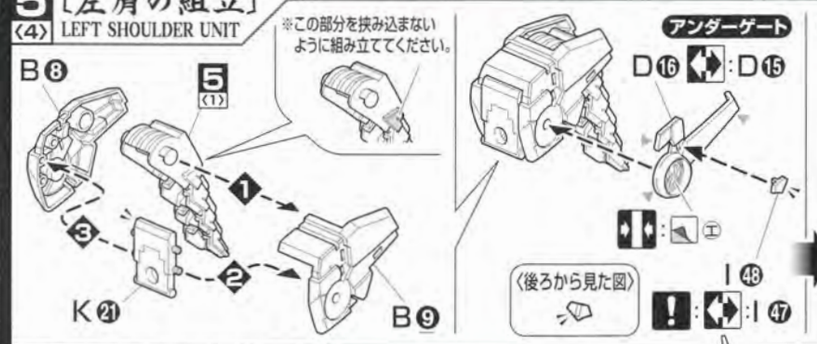
5 〈2〉 [右肩の組立] RIGHT SHOULDER UNIT



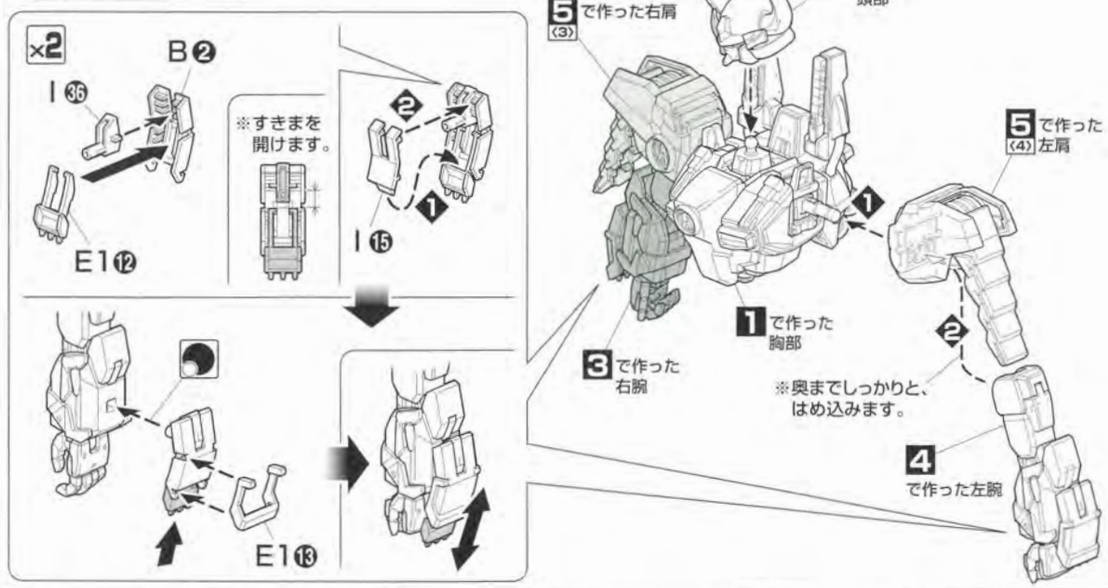
5 〈3〉



5 〈4〉 [左肩の組立] LEFT SHOULDER UNIT

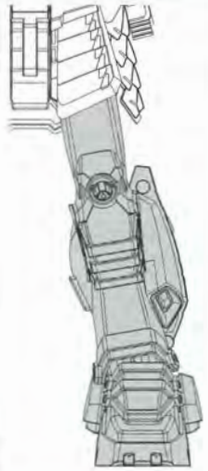


6 [上半身の完成] UPPER BODY

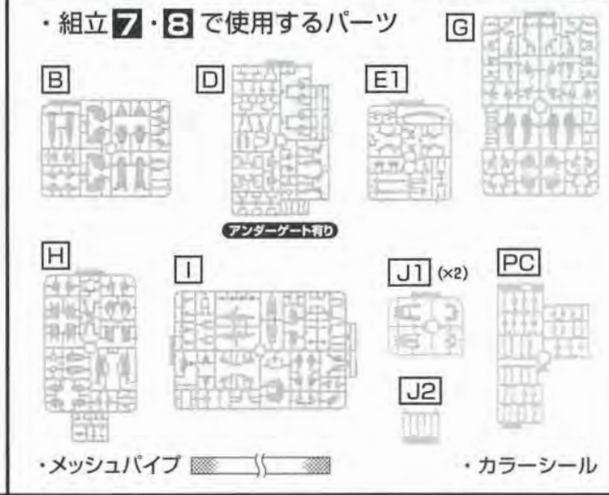


※組立図中の記号説明: ㋐ シールの番号 / 両側に同じパーツを取りつける / 向きに注意して組み立てる / ×2 部品を数値の個数作ります / 後から組み立てる / 反対側に取り付けるパーツ

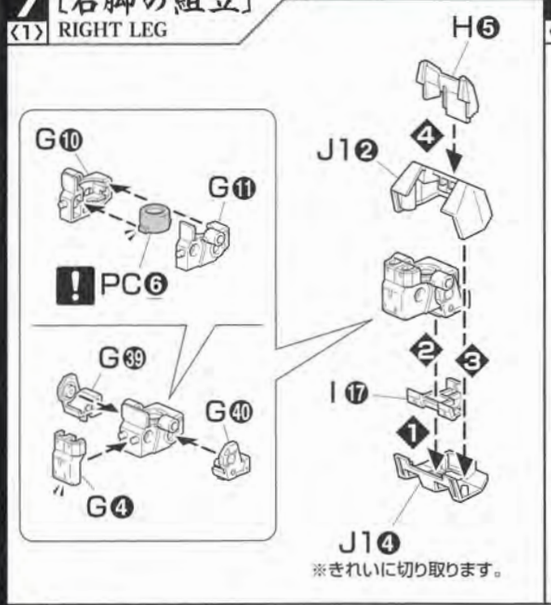
7 8 LEG



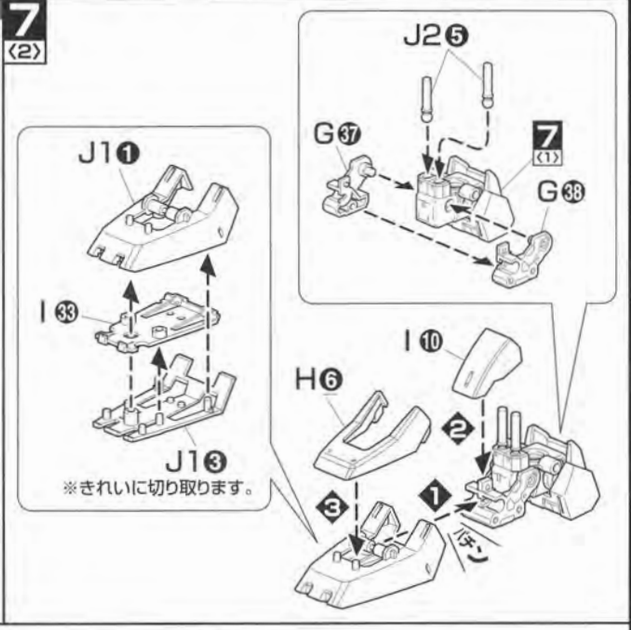
・組立 7・8 で使用するパーツ



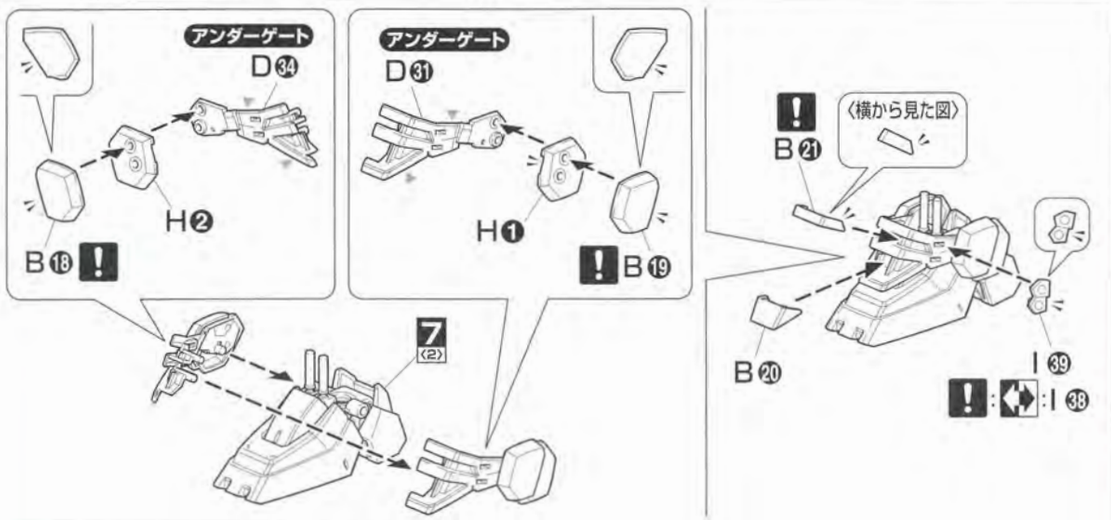
7 〈1〉 [右脚の組立] RIGHT LEG



7 〈2〉



7 〈3〉



※組立図中の記号説明: 反対側に取り付けるパーツ / 向きに注意して組み立てる

※写真はイメージです。解説等文章及びイメージカットは、ゲームソフト「ガンダム無双」シリーズのストーリーに基づいたものです。

本機体にご命令を。我が主よ

時空を超えて出現し、地球へと迫る謎の小惑星の謎を解明すべく、各時代の“ガンダム”を駆る英雄=パイロットたちが集結した。その小惑星では、謎の巨大な鎧武者が二人、目覚めの時を迎えていた。「お目覚めですか?」「わが宿命、阻むこと叶わぬ!」武者Mk-Ⅱは、武者ガンダムを“主”としながらも別の目的を持っていた。「あんたは次の主人が見つかるまでの仮の主人にすぎない」機械武者=MSの群れをなぎ払い、その領域から全ての敵の反応が消え去るまで二人の進撃はとまらない。「その究極の力…我に捧げるがよい!」複数の世界から集結した英雄たちは小惑星の各所から侵入を果たしていたが、武者ガンダムは無人の野を往くが如く、武者Mk-Ⅱにさえ関心が無いようでもあった。「単独行動がこうも簡単に可能となるとは幸運だねえ」シロッコやハマーン、ミリアルド、東方不敗といった猛者と渡り合いながら、武者Mk-Ⅱはひとりごちる。「こっちはこっちで、優れたパイロットを捜すことに専念するとしますか」戦いへの自らの渇望を唱え続ける武者ガンダムをよそに、武者Mk-Ⅱは戦いながらパイロットの品定めをしていた。「カミーユ・ビダン…やはり勘が鋭いのか。この種の人間は何人いるんだ?それにしてもこの戦闘力…素晴らしい!」「ハマーン・カーン…本機体のパイロットの有力候補の一人だ。その性格も嫌いじゃない、むしろ…」「現れたな。作戦の第二目標、アムロ・レイとガンダム。今回最も重要視すべき敵ってわけだ」そして、武者Mk-Ⅱと剣を交えたアムロは直感する。「ただの人形だ…動きは読めるぞ!」「こちらが無人機であることをこうも簡単に見抜くか…さすがだねえ。あんたみたいな生きた伝説にふさわしいのは、この機体みたいな伝説の機体じゃないのかな?」戦いは続く。

勝算は十分にあった。でなければ戦わないさ。

素早いSP（スペシャル）攻撃で、
群がる敵をなぎ払う
武者ガンダムMk-Ⅱ!その姿は
まさに戦って勝つために創られた機体!!

▲SP攻撃レベル1。二刀流で連続突きを出す。

▲SP攻撃レベル2。槍を豪快に振り回す。

▲そしてレベル3。腰をかがめ敵めがけ突進し、強力な体当たりで敵をけちらす。

※画面は『ガンダム無双 Special』のものです。

武者ガンダムの家臣である武者ガンダムMk-Ⅱ。二本の太刀を自在に振るい敵をなぎ払う。果たして彼の真の目的とはいったい…。

▲疾風のごとき速さで二刀を使いこなす彼の機動力は、その強力なスラスターにある。この機動力をもってフィールドを縦横無尽に駆けめぐるのだ。

▲武者ガンダムの目覚めに呼応するかのように現れた武者ガンダムMk-Ⅱ。二刀流の使い手でもある彼の武器もまた謎の小惑星の金属で精製されたものなのだろうか…?

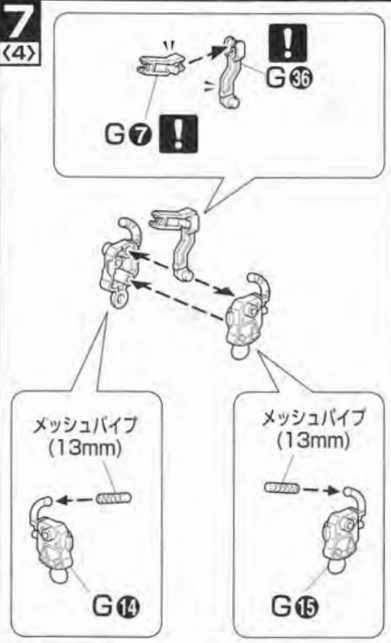
※写真はバンダイプラモデル
アクションベース1（別売り）を使用しています。
このキットに台座は付属していません。

※この商品には、『MG 武者ガンダムMk-Ⅱ』1セットのみが入っています。

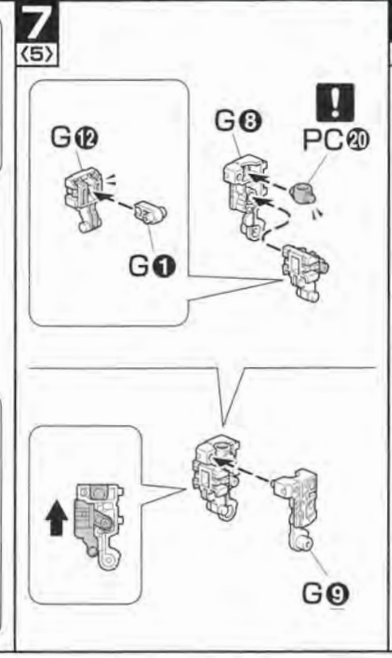
未来のご主人様のためにも、もうひと頑張りするとしますか

武者Mk-Ⅱがロランのνガンダムを撃破すると同時に敵勢力は壊滅した。「他愛なし!」武者ガンダムの嘆息を聞いた武者Mk-Ⅱは「そうだな、他愛のないお遊びはここで終わりにしようか」とつぶやき、軌道エレベーターのメインルームを奪取する。「他愛なきは汝が小細工よ。その程度で我が道は消えぬ!」武者ガンダムは、闘争以外に人類の発展や存続はあり得ず、さらなる戦いを地球にもたらそうとしていた。武者Mk-Ⅱは、未来の主のため地球の未来を守ることを決意。人類の可能性を信じて武者ガンダムを裏切ったのであった。しかし武者ガンダムは単独で地球降下を始めてしまう。武者Mk-Ⅱはジャブローの地で武者ガンダムを待ち受ける。「ご主君のために棺を用意してやりますか。とびきり大きなやつ」武者Mk-Ⅱは、武者ガンダムをこのジャブロー基地内に誘い込み、封じ込めるつもりであった。「怖れをなしたか。この城ごと汝を消し去らん!」群がるMSを蹴散らしながら迫る武者ガンダム。戦闘によって力を増す武者ガンダムを弱体化すべく、武者Mk-Ⅱは基地中枢に武者ガンダムを隔離して敵を倒し続ける。「武者ガンダムは敵との戦闘を通じてリアルタイムに戦闘力を増加させる。奴に餌を与えるような真似はできない。やむを得ないが、この場の全機を撃墜する!」基地から脱出した武者Mk-Ⅱは、ふたつで一対の虎鉄丸を縦横に振るい、閃光丸でなぎ払う。鬼神の如きその戦いに、思わずロランは問いかける。「あなたの敵は、一体誰なんです?　あなたの味方は?」「誰の敵でも誰の味方でもない。強いていうなら、…地球と地球の未来の味方ってとこかな?」そしてついに、武者Mk-Ⅱは東方不敗、ヒイロ、ドモン、ミリアルドをも退ける。だがしかし、武者ガンダムを押しとどめることはやはり叶わなかった。草原に立つ巨大な鎧武者が二人、決着の時を迎えようとしていた。…そして!!

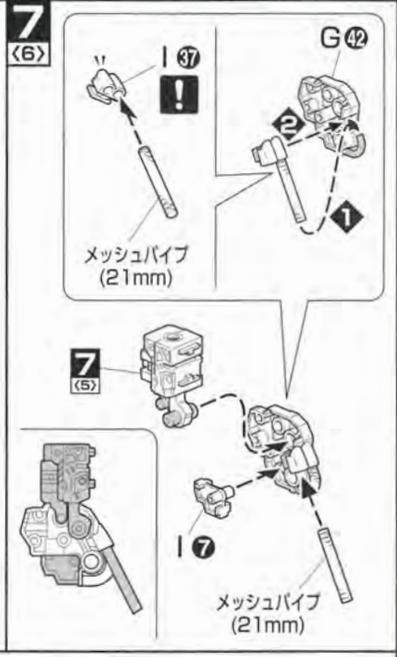
7 〈4〉



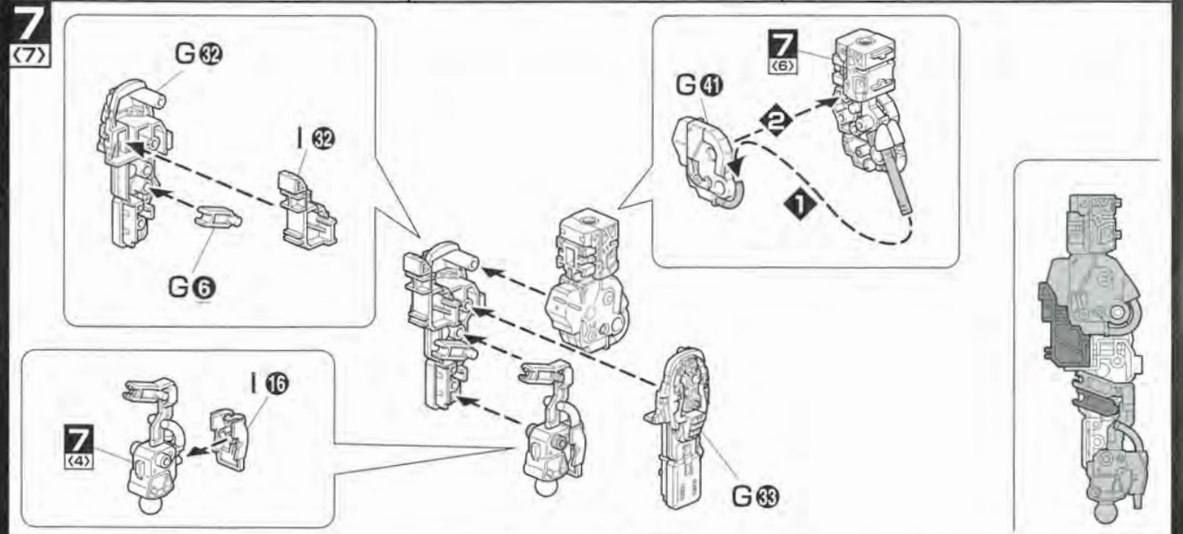
7 〈5〉



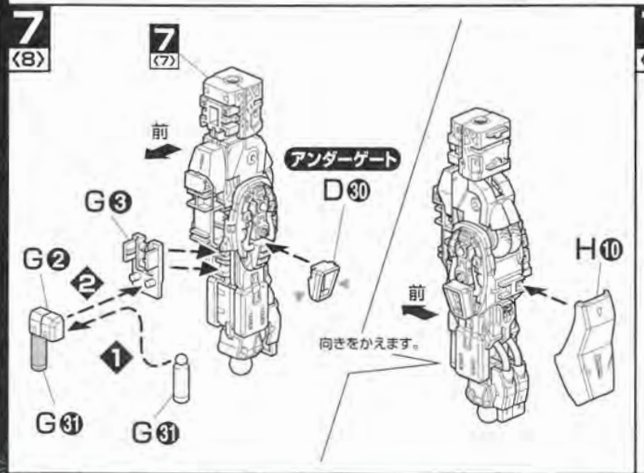
7 〈6〉



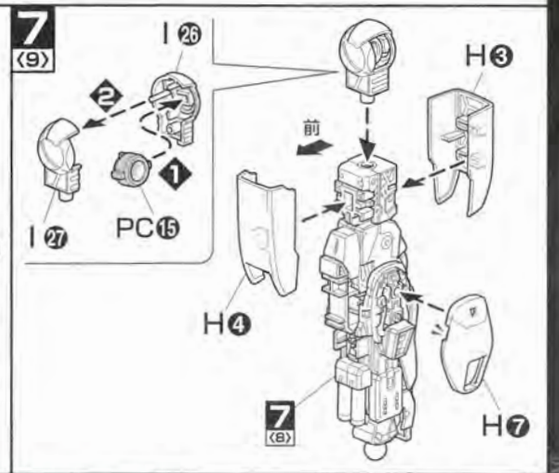
7 〈7〉



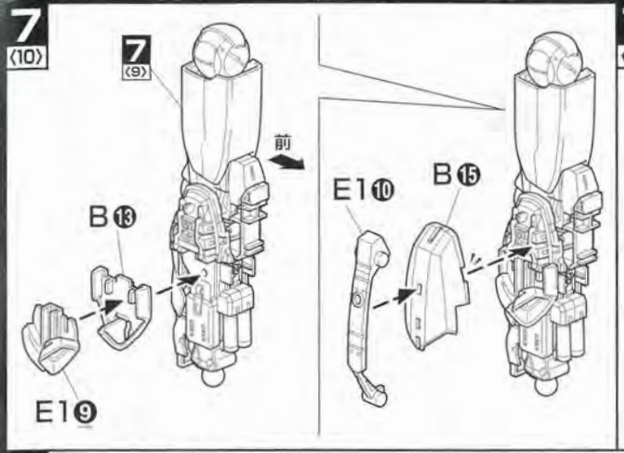
7 〈8〉



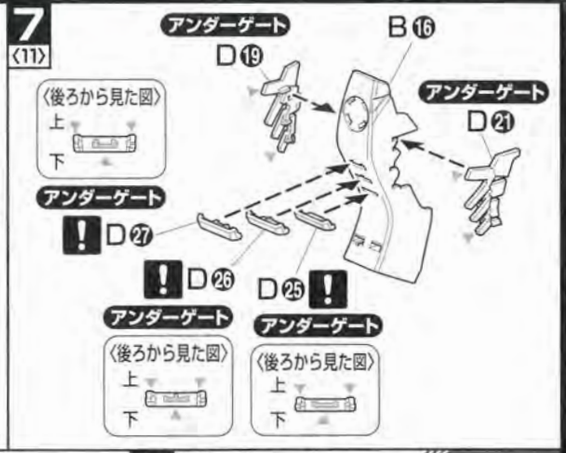
7 〈9〉



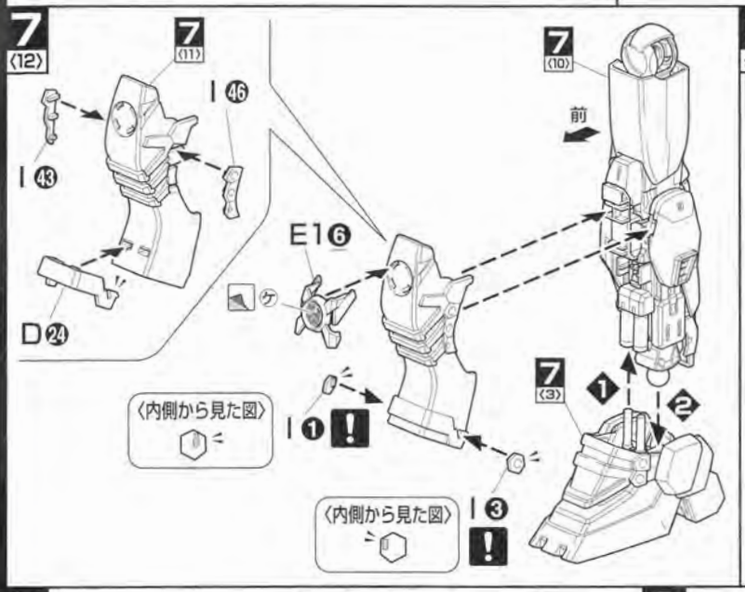
7 〈10〉



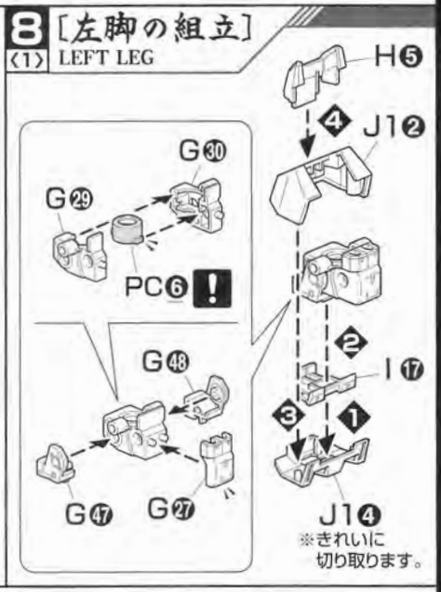
7 〈11〉



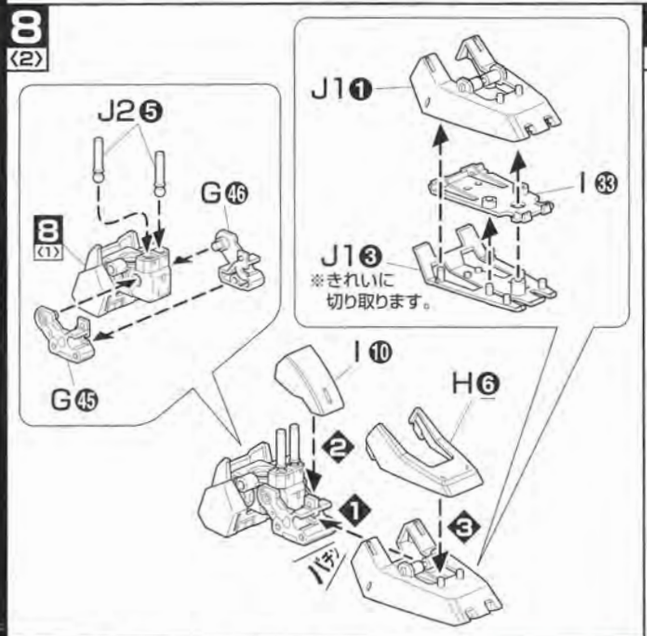
7 〈12〉



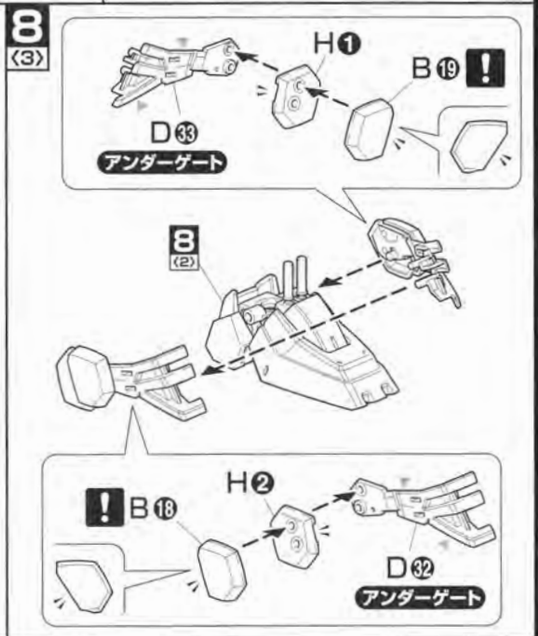
8 〈1〉 [左脚の組立] LEFT LEG



8 〈2〉



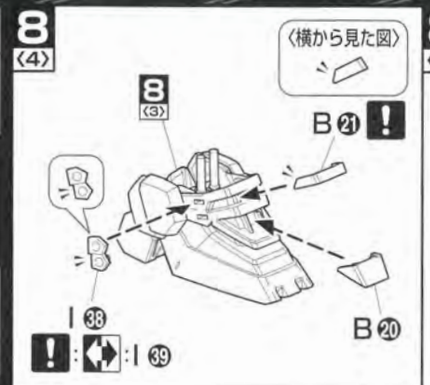
8 〈3〉

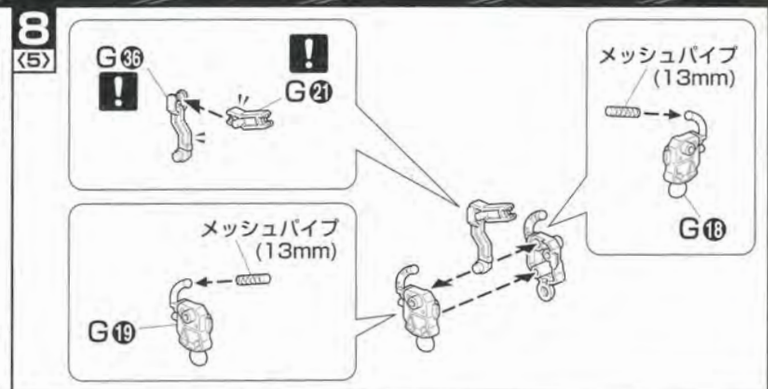


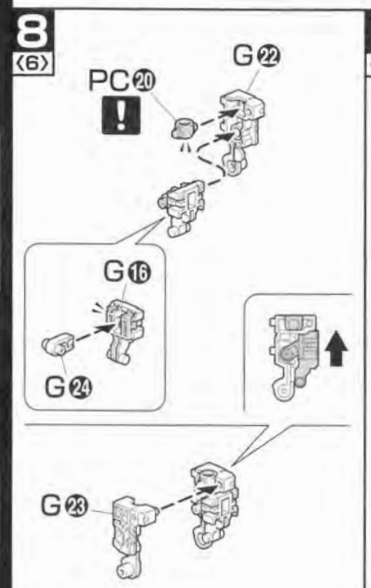
※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる

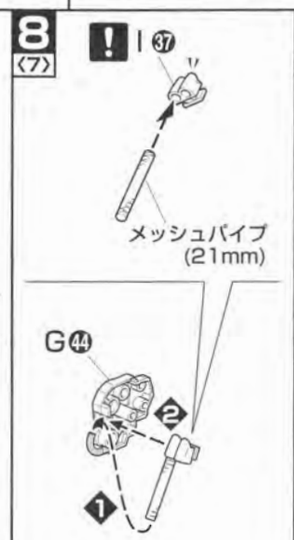
ア シールの番号

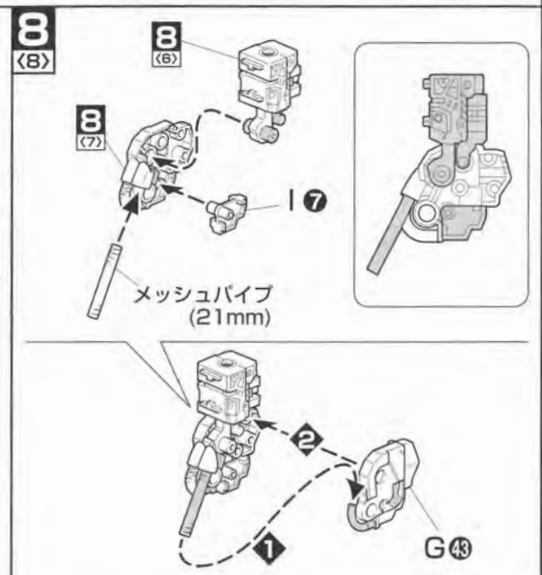
0 1 2 3

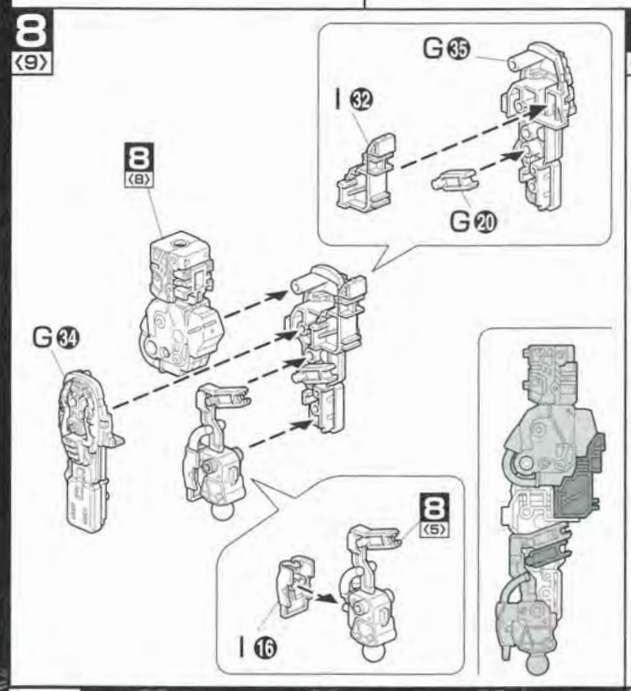


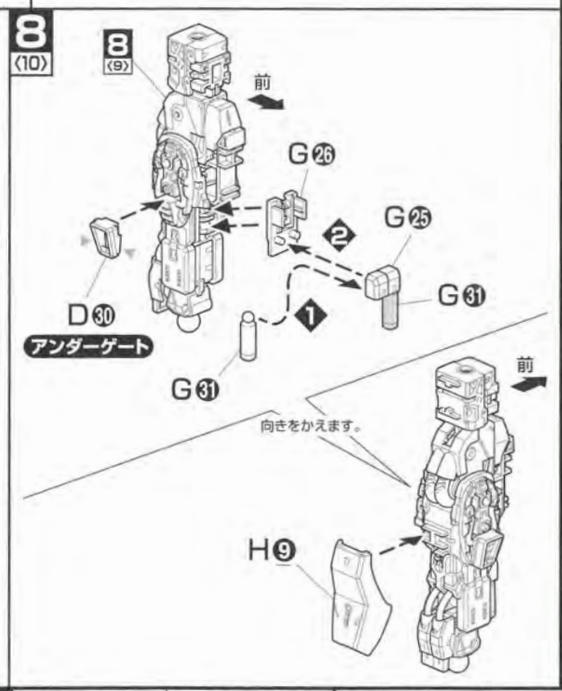




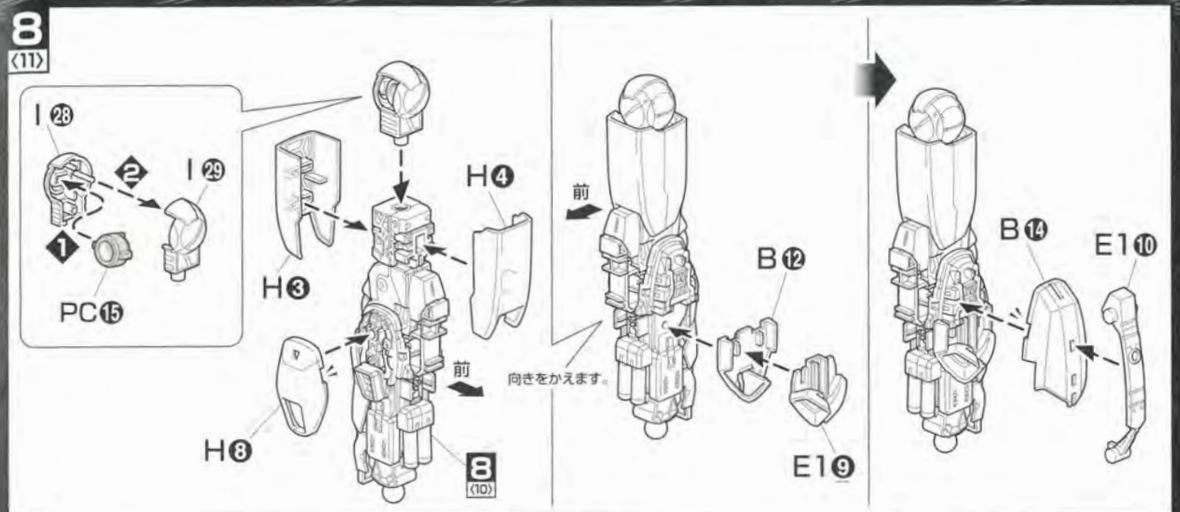


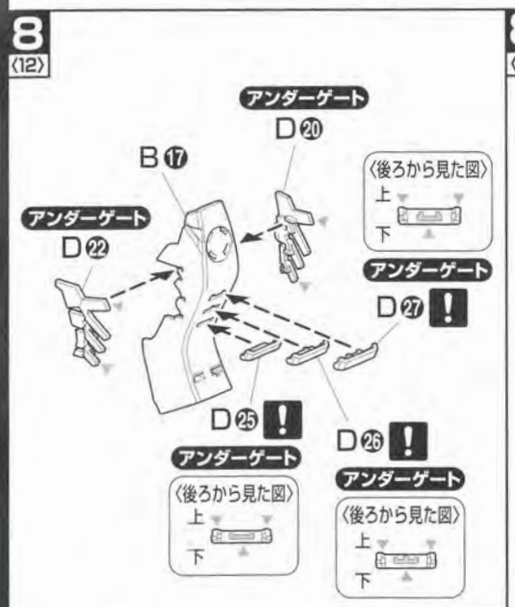


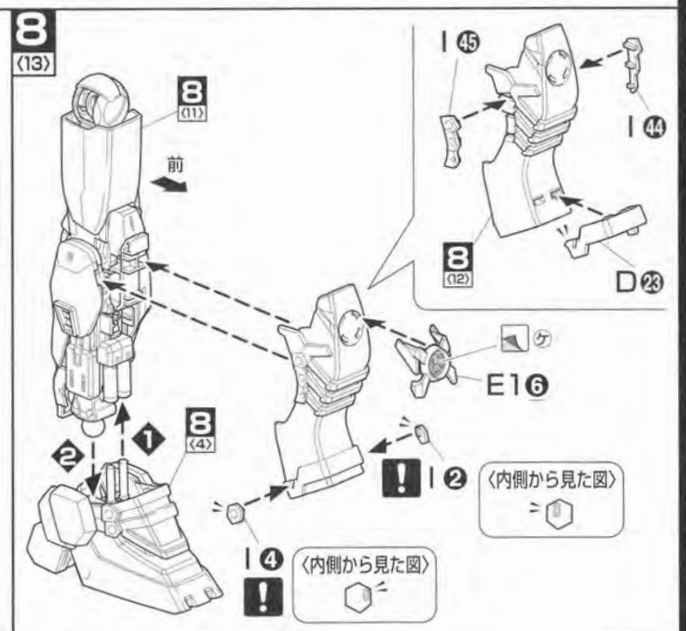




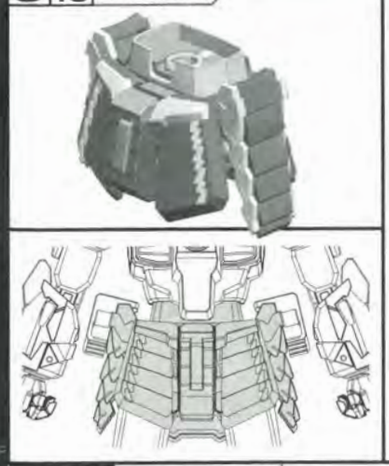
※組立図中の記号説明
反対側に取り付けるパーツ
向きに注意して組み立てる
0 1 2 3



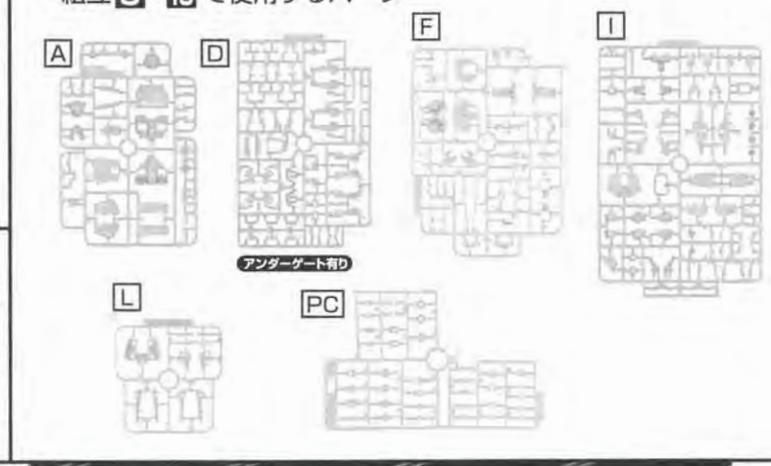




9 10 WAIST

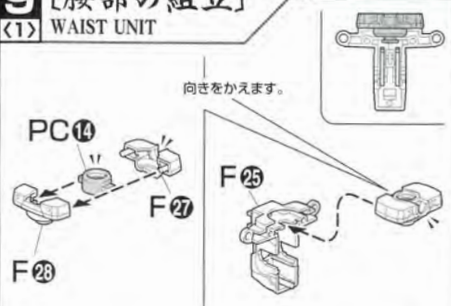


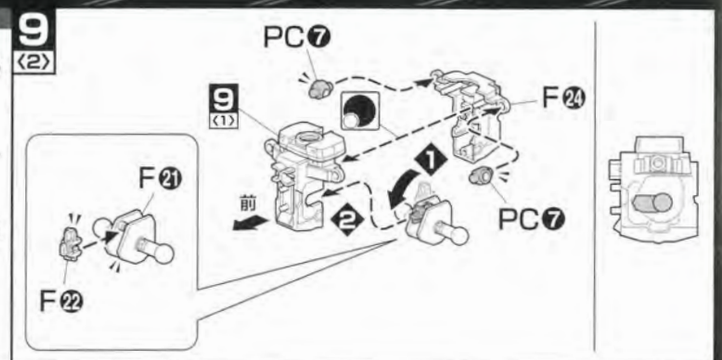
・組立 9 ・ 10 で使用するパーツ

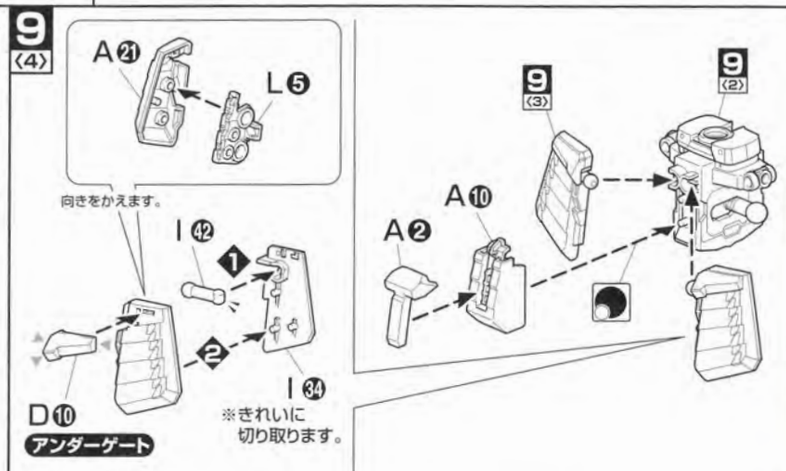


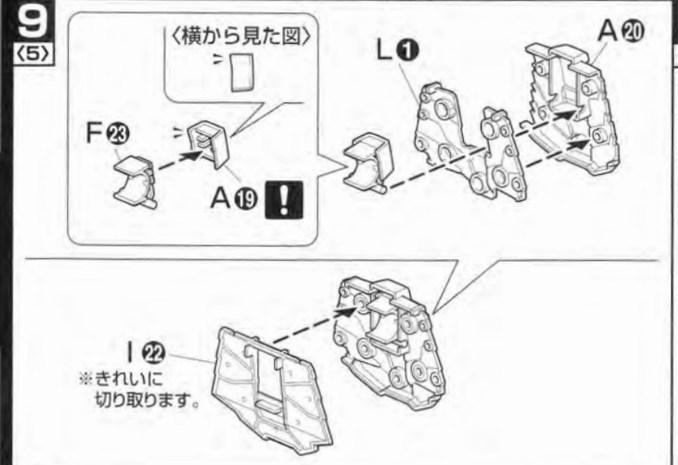
※組立図中の記号説明
向きに注意して組み立てる
シールの番号

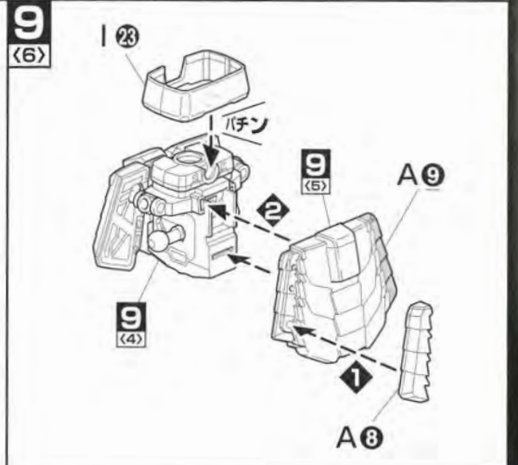
9 〔腰部の組立〕 WAIST UNIT

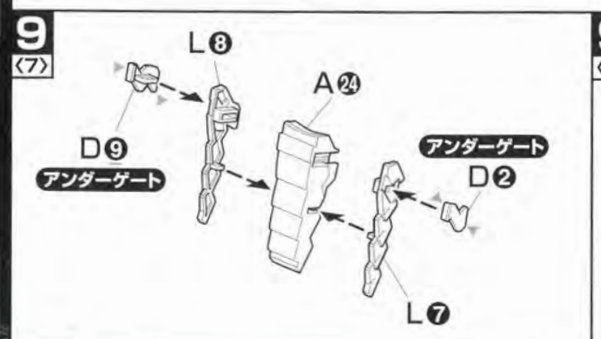


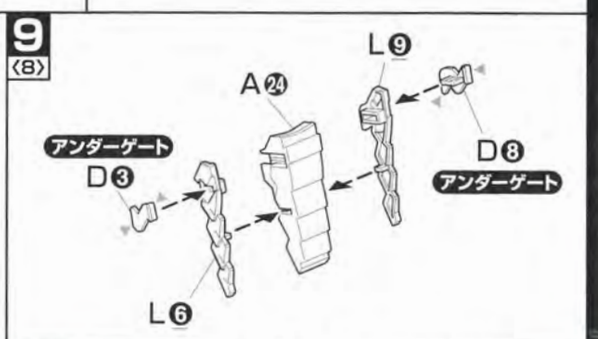






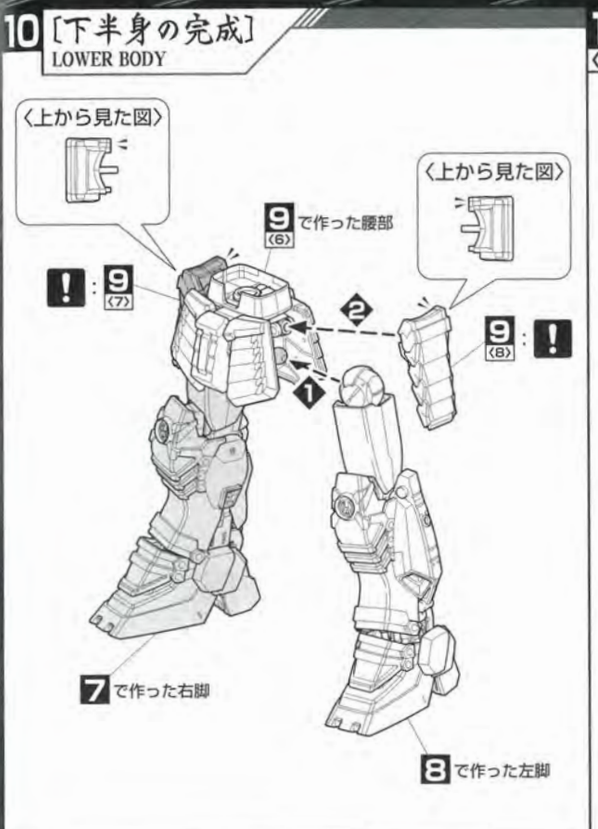




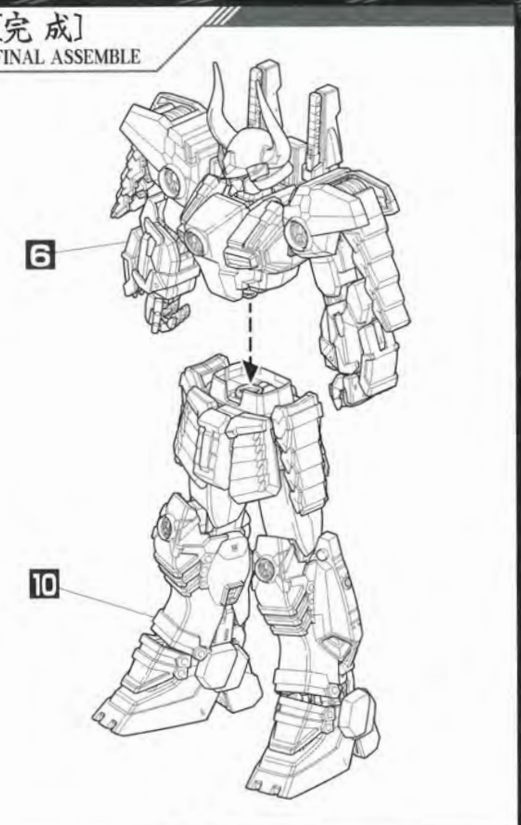


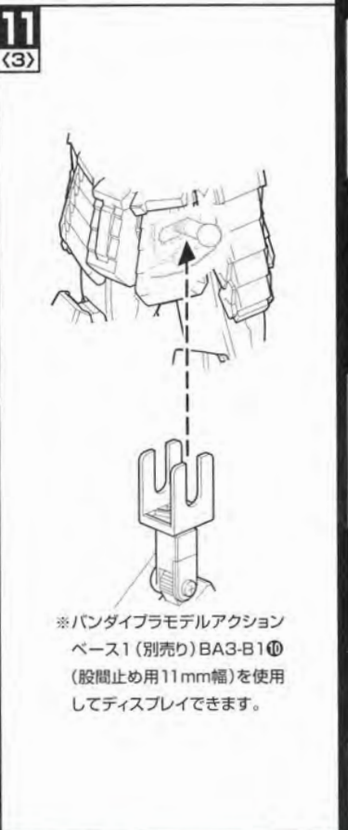
※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
後から組み立てる

10 〔下半身の完成〕 LOWER BODY



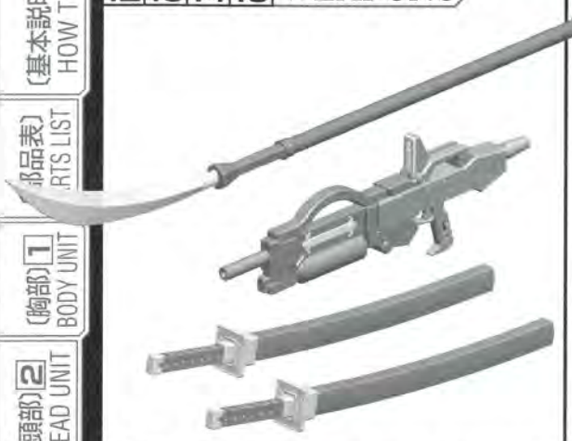
11 〔完成〕 FINAL ASSEMBLE



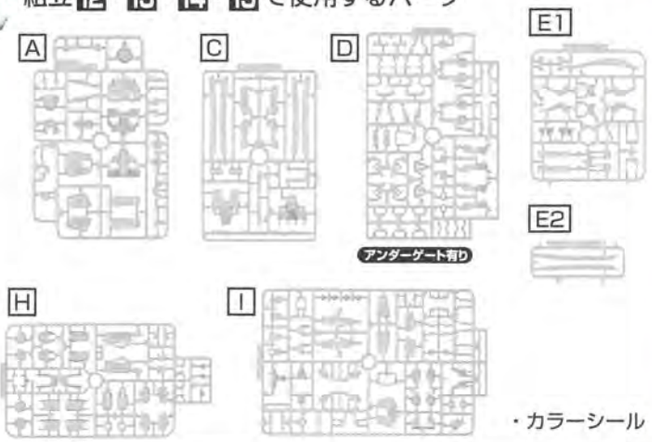


※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる

12 13 14 15 WEAPONS

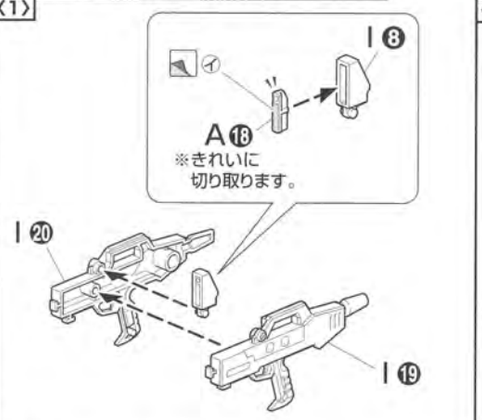


・組立 12・13・14・15 で使用するパーツ

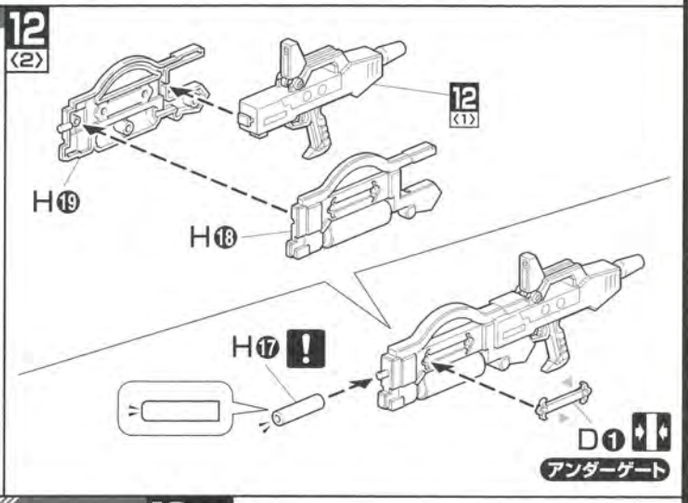


・カラーシール

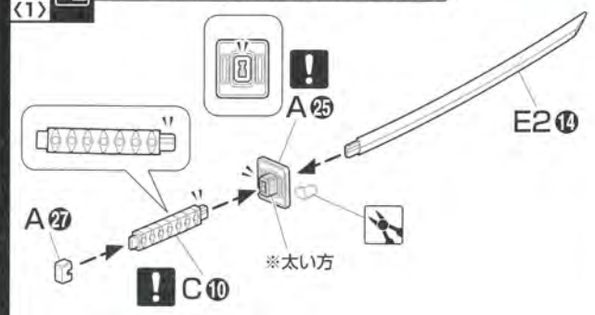
12 〈1〉 [火砲「昇竜丸」の組立]



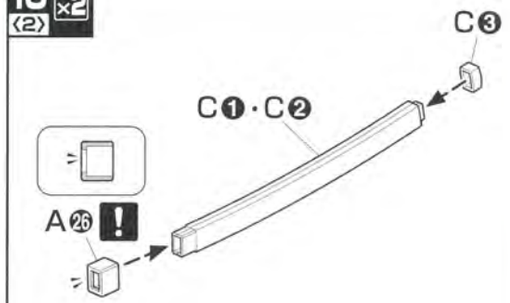
12 〈2〉



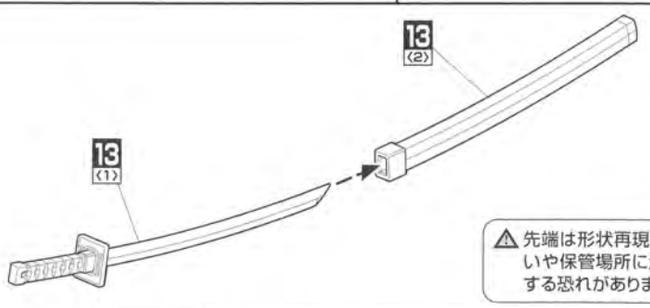
13 〈1〉 ×2 [太刀「虎鉄丸」の組立]



13 〈2〉 ×2



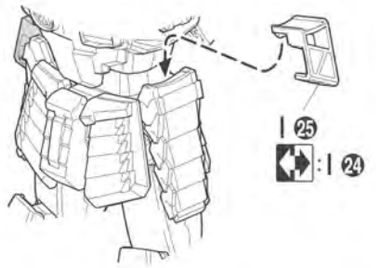
13 〈3〉 ×2

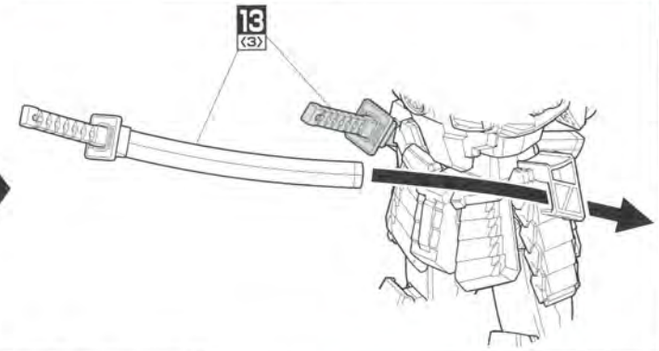


⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

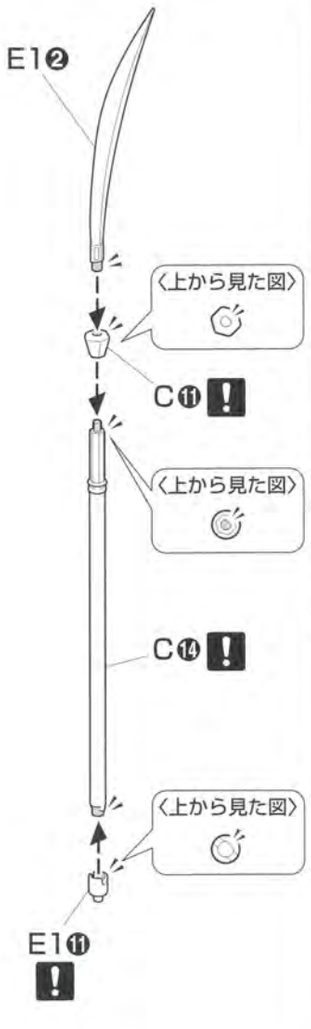
※組立図中の記号説明
切り取る部分
両側に同じパーツを取りつける
ア シールの番号
×2 部品を数値の個数作ります
向きに注意して組み立てる

13 〈4〉

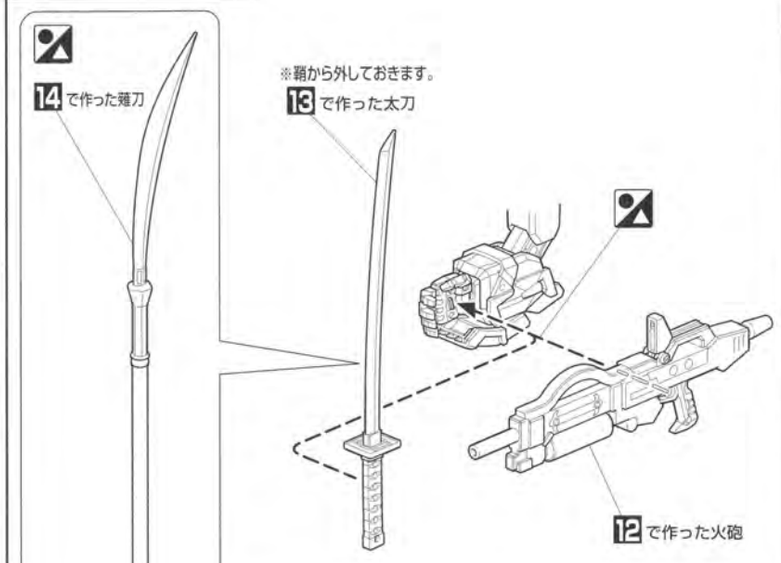




14 [薙刀「閃光丸」の組立]

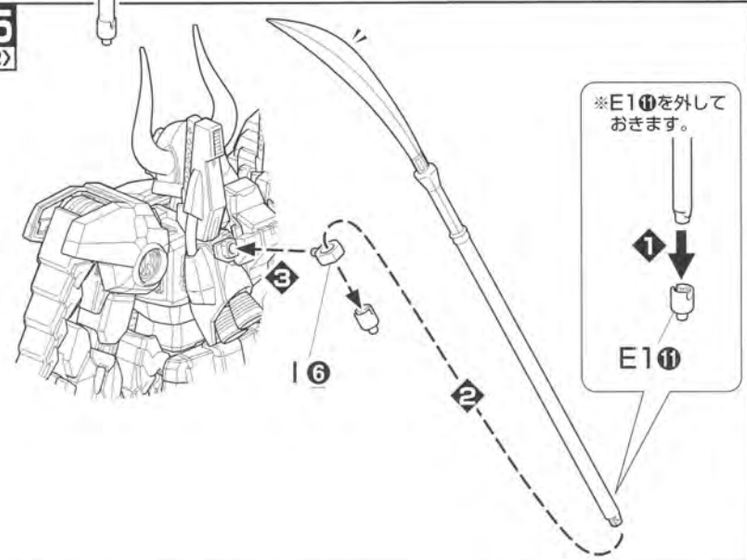


15 〈1〉 [武器の装備] WEAPONS EQUIPMENT



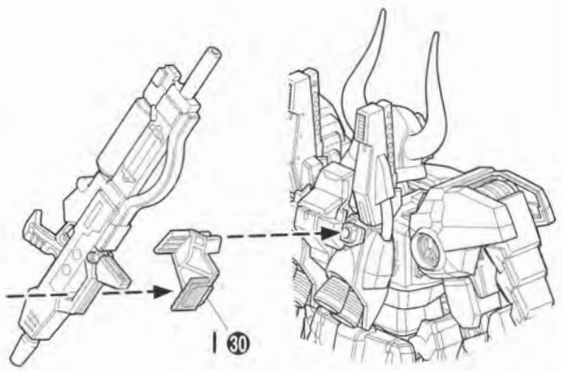
⚠ 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

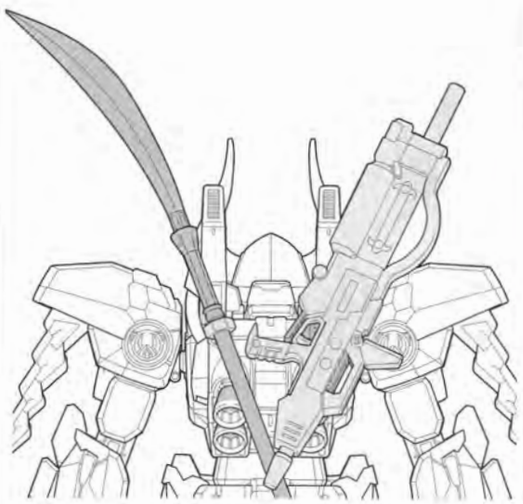
15 〈2〉



※組立図中の記号説明
反対側に取り付けるパーツ
向きに注意して組み立てる
どちらかを選んで取りつける

15
〈3〉





Seal
〈シール〉

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

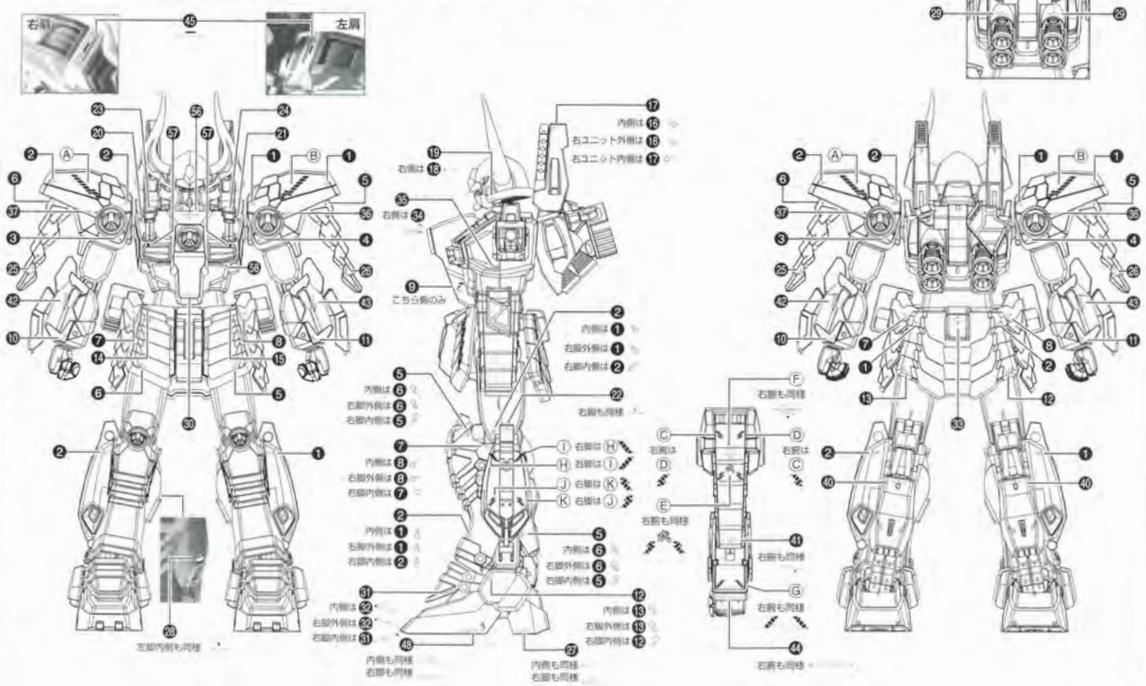
【ガンダムデカールの貼りかた】

1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

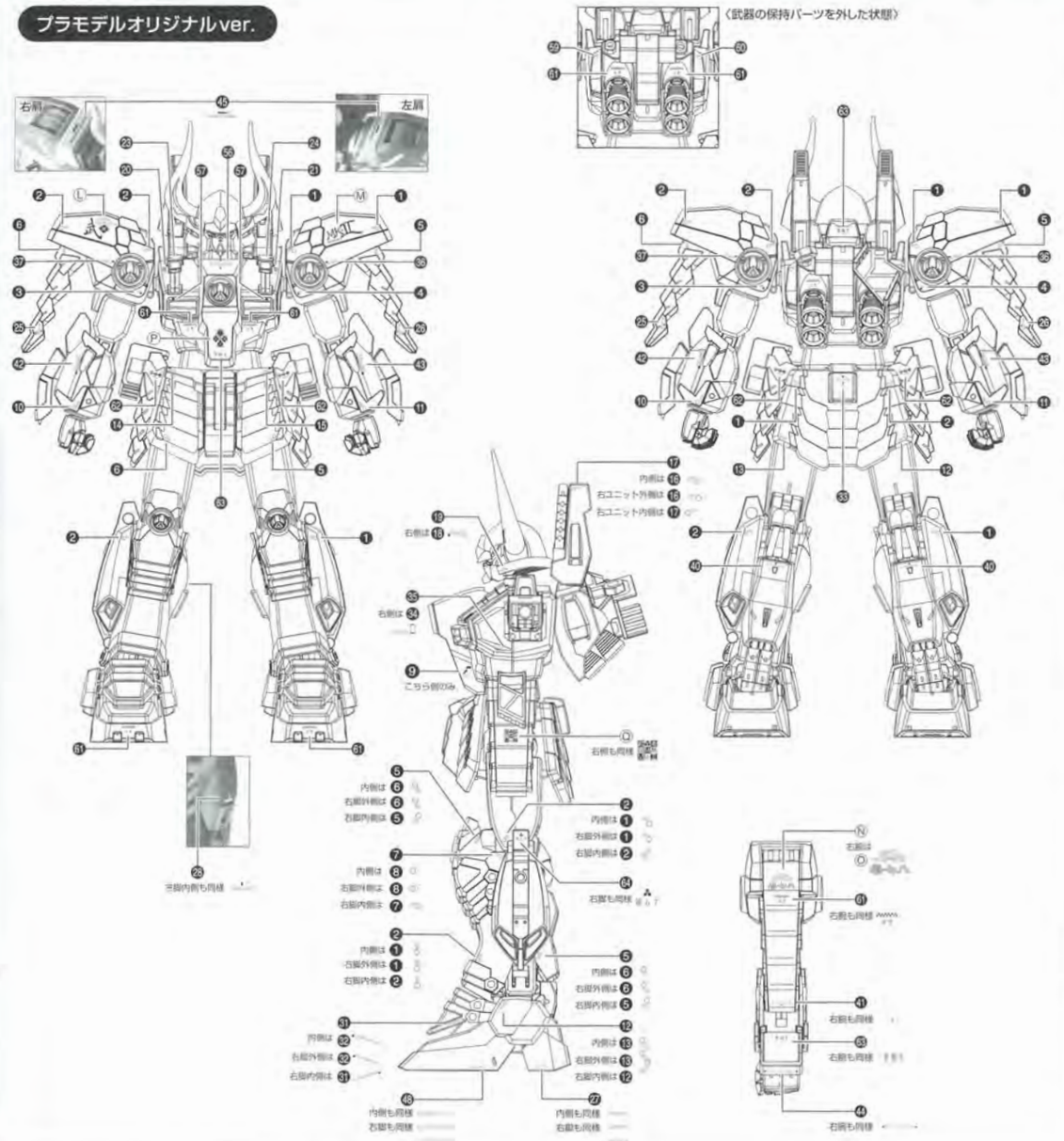
マーキングシールは「数字の白文字」、ガンダムデカールは「アルファベットの黒文字」で表記してあります。
【例】 ❶・・・マーキングシール Ⓐ・・・ガンダムデカール

カトキハジメデザインver.

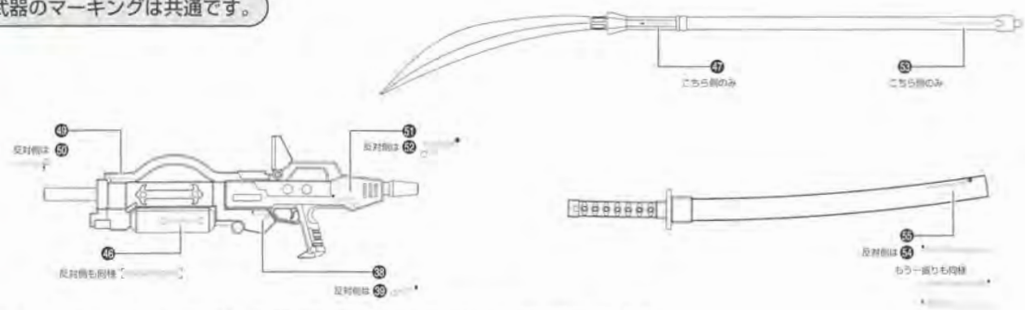
※本商品のデカールは、『カトキハジメデザインver.』と『プラモデルオリジナルver.』の2通りの貼り方があります。どちらか選択してお貼りください。



プラモデルオリジナルver.



武器のマーキングは共通です。



※このマーキングシール及びガンダムデカールの貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。
余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。